



## リノベーション 基本編

本書は、間取り変更や設備の入れ替えの内装リフォームや、外壁や屋根の変更の外装リフォームを、リノベーションプログラムを使用して現況図から計画図の作成、パース画像、図面作成までの操作を解説したテキストです。

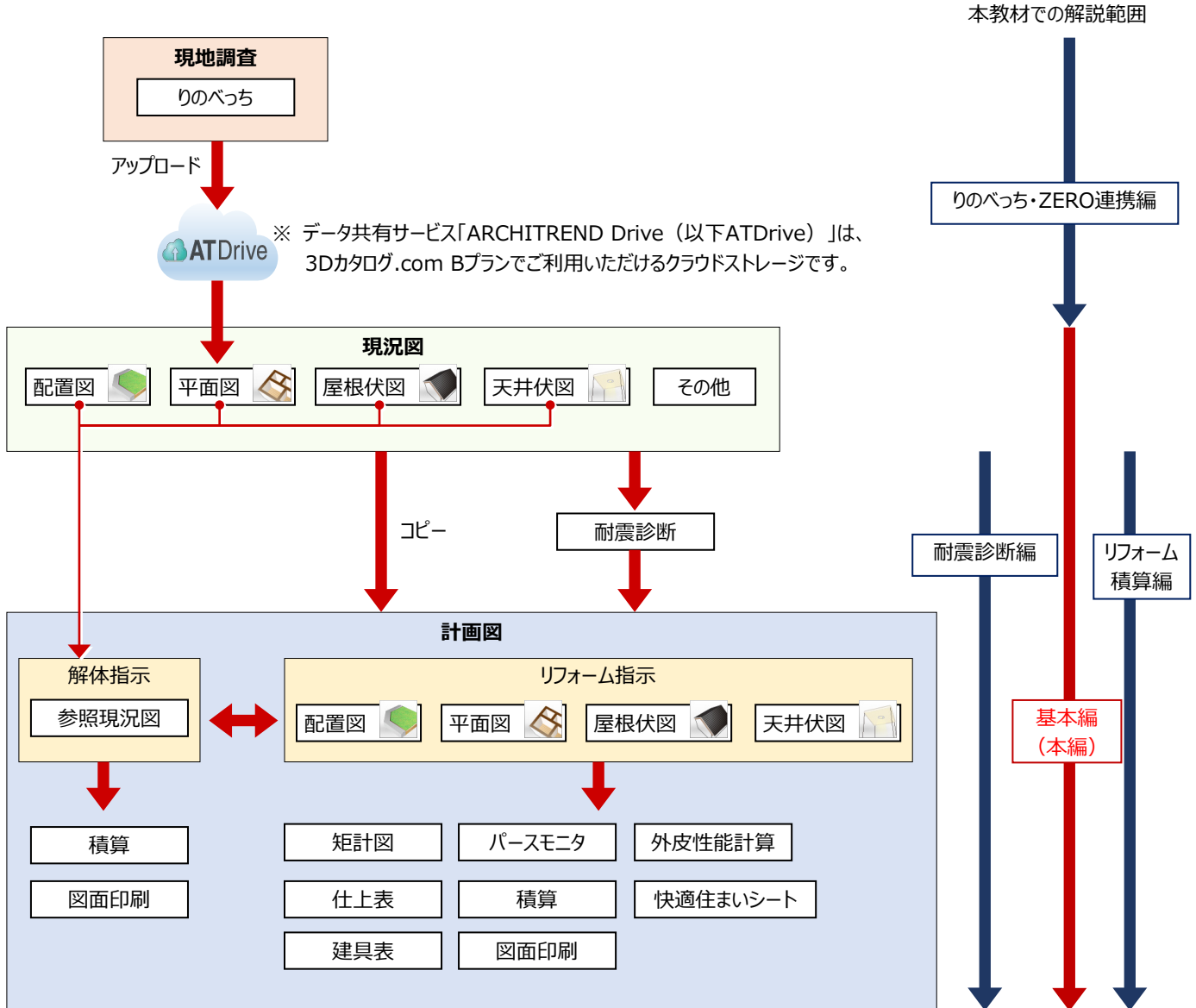
1. リノベーションの概要	1
2. 作成するプラン	2
3. 現況図の作成	4
3-1 新しい物件の作成	4
3-2 1階平面図の作成	7
3-3 2階平面図の作成	14
3-4 屋根伏図の作成	16
3-5 配置図の作成	18
3-6 パースモニタデータの作成	20
4. 計画図の作成	22
4-1 計画図データの作成	22
4-2 参照現況図の確認	23
4-3 間取りの変更	24
4-4 壁・仕上の編集	26
4-5 内装の変更	28
4-6 外装の変更	35
4-7 リフォーム指示の作成	38
5. パースの作成	43
5-1 パース用データの作成	43
5-2 パース用画像の作成	48
6. 図面の作成	51
6-1 会社情報の設定	51
6-2 図面の配置	53
6-3 パース画像の配置	55

# 1

## リノベーションの概要

リノベーションの物件では、まず現況図を作成して、現況図をもとに計画図を作成します。

計画図は複数作成でき、計画図で解体指示やリフォーム指示を行うことで、手軽に積算や提案資料の作成を行うことができます。また、現況図作成のあとに耐震診断を行って計画図を作成することもでき、現地調査から概算・見積まで、リノベーション業務を一括で行うことができます。



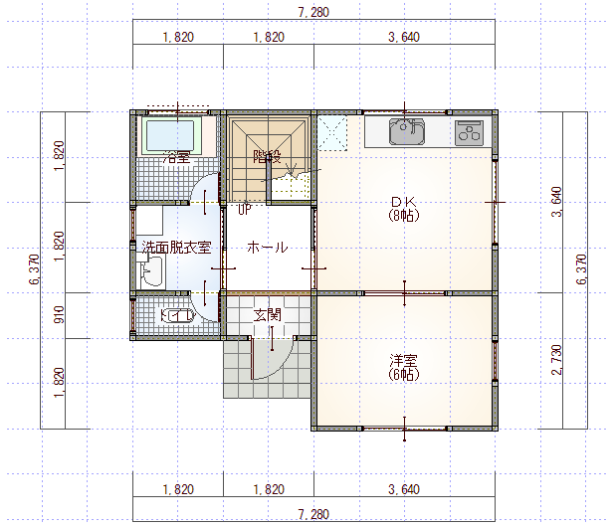
# 2

# 作成するプラン

本書では、改築をとまなう内装、外装リフォームを例に現況図・計画図の作成の流れを解説します。

※ このプランはリフォームの操作を一通り解説するために用意した仮想プランです。

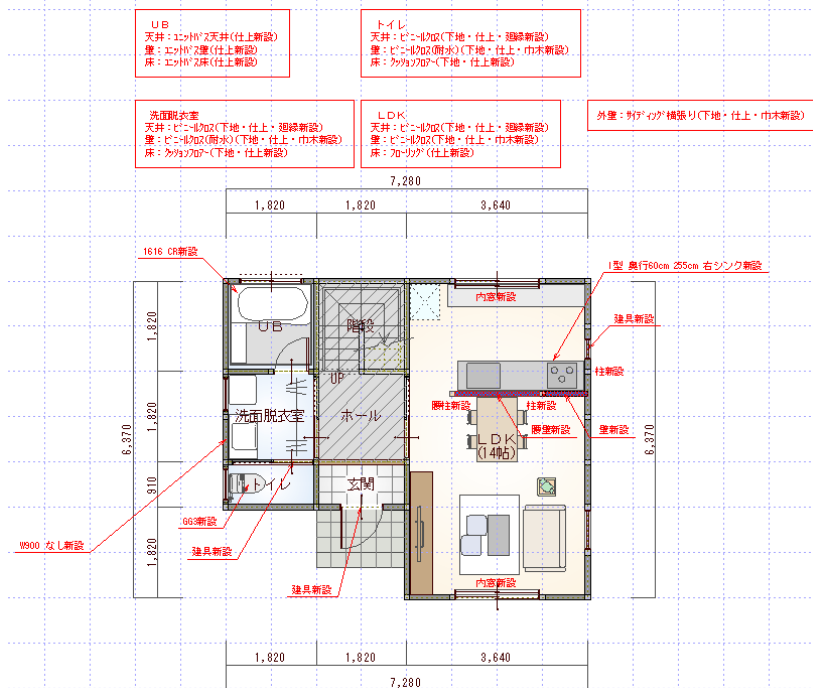
## 現況図



【1階 平面図】



## 計画図



【1階 平面図】



# 図面印刷

1階 平面図 (既設) S:1/100

1階 平面図 S:1/100

工種名	福井 太郎 様 部 改 装 工 事	会社名	フカイホーム株式会社	図面番号	01	図面名	1階 平面図 (既設) 1階 平面図	図面枚数	1
図式	福井県小浜市1-1-133	TEL: 0758-12-2455	FAX: 0758-12-7888	1/A	1/A	1/A	縮尺	1/80	

2階 平面図 (既設) S:1/100

2階 平面図 S:1/100

工種名	福井 太郎 様 部 改 装 工 事	会社名	フカイホーム株式会社	図面番号	02	図面名	2階 平面図 (既設) 2階 平面図	図面枚数	2
図式	福井県小浜市1-1-133	TEL: 0758-12-2455	FAX: 0758-12-7888	1/A	1/A	1/A	縮尺	1/80	

工種名	福井 太郎 様 部 改 装 工 事	会社名	フカイホーム株式会社	図面番号	03	図面名	2階 設備印刷	図面枚数	3
図式	福井県小浜市1-1-133	TEL: 0758-12-2455	FAX: 0758-12-7888	1/A	1/A	1/A	縮尺		

工種名	福井 太郎 様 部 改 装 工 事	会社名	フカイホーム株式会社	図面番号	04	図面名	4階 設備印刷	図面枚数	4
図式	福井県小浜市1-1-133	TEL: 0758-12-2455	FAX: 0758-12-7888	1/A	1/A	1/A	縮尺	1/80	

# 3

## 現況図の作成

### 3-1 新しい物件の作成

ARCHITREND Manager（以降、マネージャー）から新しくお客様データを作成し、ZEROを起動します。まず現況図を作成して、現況図をもとに計画図を作成します。

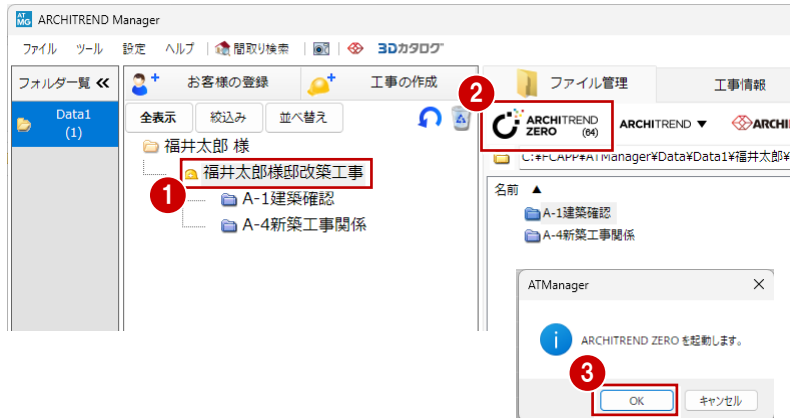
#### マネージャーを起動する

- 1 デスクトップの「ATManager」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「お客様の登録」をクリックします。
- 3 「お客様の登録」ダイアログの「お名前」にお客様の名前を入力します。
- 4 「工事内容」「主構造」「建物階数」を設定します。  
今回は、改築、木造・地上 2 階建てで設定します。
- 5 「登録」をクリックします。



#### ZERO を起動する

- 1 ツリー表示部分で、上記で登録した工事フォルダが選択されていることを確認します。
- 2 「ARCHITREND ZERO」をクリックします。
- 3 確認画面で「OK」をクリックします。



#### 3D カタログ.com のアカウント画面について

3Dカタログのアカウント設定をおこなっていない場合は、右のような画面が表示されます。会員登録をおこない3Dカタログを使用できる状態にした場合には次回から表示されません。



## 物件情報を設定する

- 物件名、構造・階数を確認します。  
マネージャーで設定した内容が連動します。
- 物件データのタイプを「リフォーム現況図」に設定します。
- 「次へ」をクリックします。

新規物件の「物件No」は、自動的に空いているNoの上位から登録されます。

マネージャーで設定した工事名称が自動的に入力されます。

データ制限  
入力範囲：4000m四方まで  
階数：地下10階、地上100階、  
ペントハウス10階まで

「リフォーム現況図」や「リフォーム計画図」に設定すると、リフォーム専用のコマンドが使用できるようになります。

- 用途地域や建蔽率などの設計条件を設定して、「次へ」をクリックします。

- 各階の基準高さなどを設定して、「次へ」をクリックします。

### 基準高さの連動先

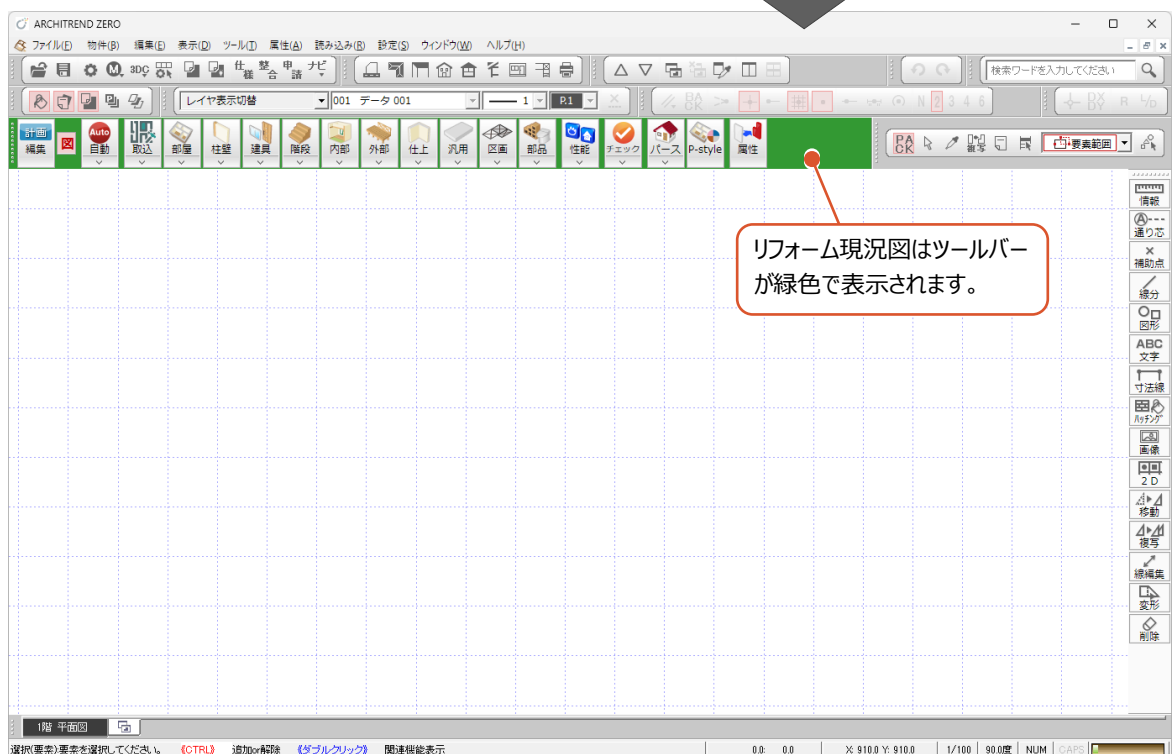
基準高	基準高を参照する部材、自動描画など
GL	敷地高さ、ポーチ・犬走りの下端高の基準
基礎高	床下換気口の上端位置基準 断面図/矩計図の躯体自動時の基礎高さ
FL	部屋の床高の基準、たれ・腰壁の高さ基準 内部階段の始点高・終点高の基準 建具の取付高（基準増減）の下端基準
窓高 階高	建具の取付高（基準増減）の上端基準
軒高	屋根の取付高（軒高基準）の増減 小屋裏換気口の上端高の基準

- 7 柱サイズや基礎タイプを設定します。
- 8 設定ができれば「完了」をクリックします。



設定した内容を物件マスタに書き込むと、他の物件でも同じ設定を使用できます。

- 9 「処理選択」ダイアログから「平面図」をダブルクリックします。
- 10 「図面選択」ダイアログの「1階」をダブルクリックします。  
1階 平面図のウィンドウが開きます。



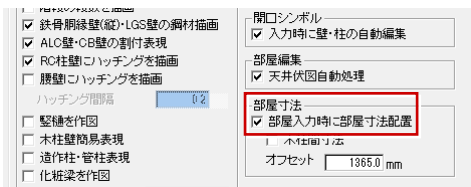


## 3-2 1階平面図の作成

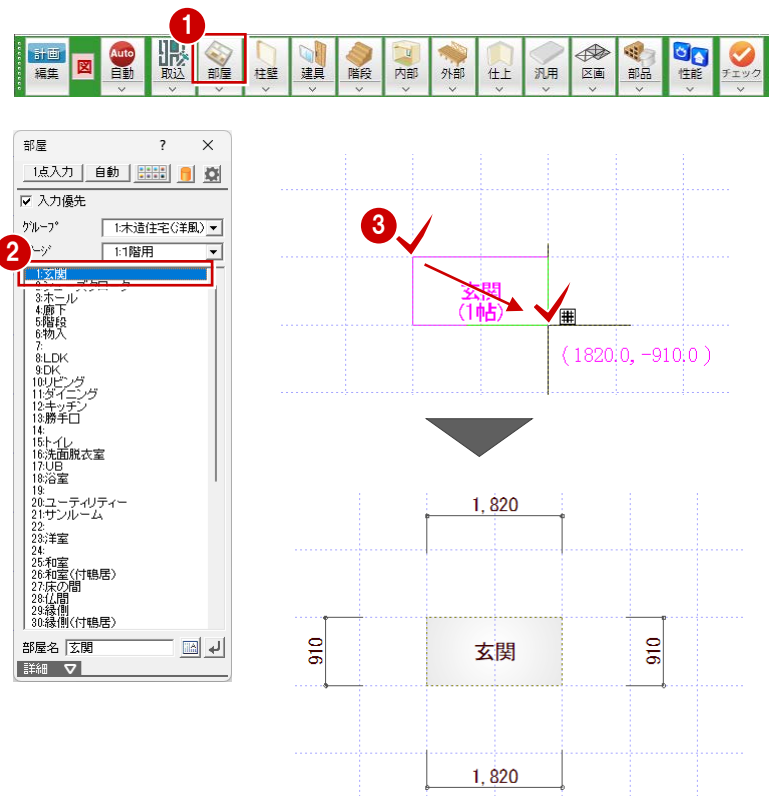
### 部屋を入力する

- 1 「部屋」をクリックします。
- 2 入力する部屋（ここでは「玄関」）をクリックします。
- 3 部屋のコーナーの始点、対角点を順にクリックします。

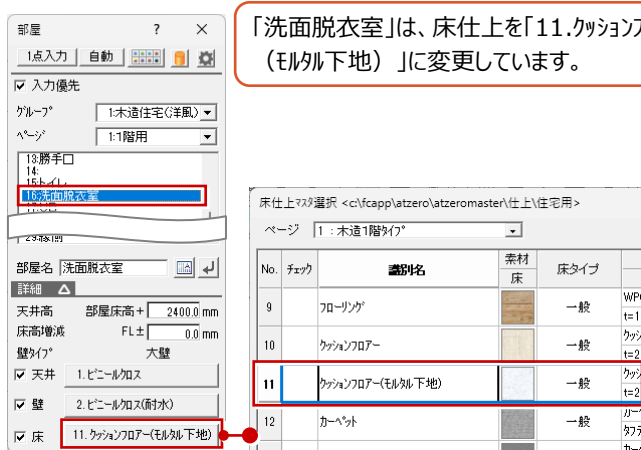
※ 「専用初期設定：モード」の「部屋入力時に部屋寸法配置」がONの場合は、部屋の入力と同時に部屋寸法が描画されます。



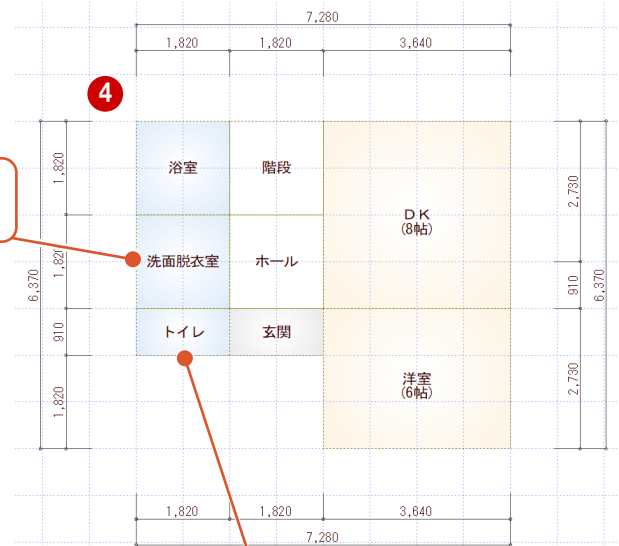
【専用初期設定：モード】



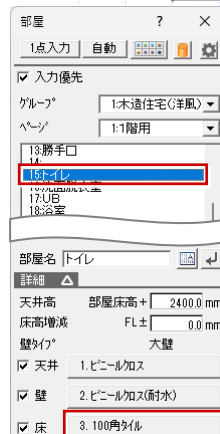
- 4 同様に、右図のように部屋を入力します。



「洗面脱衣室」は、床仕上を「11.クッションフロア(モルタル下地)」に変更しています。



「トイレ」は、床仕上を「3.100角タイル」に変更しています。



## 建具を入力する

- 1 「建具」をクリックします。
- 2 「サッシ」メニューから「サッシ・勝手口」を選びます。

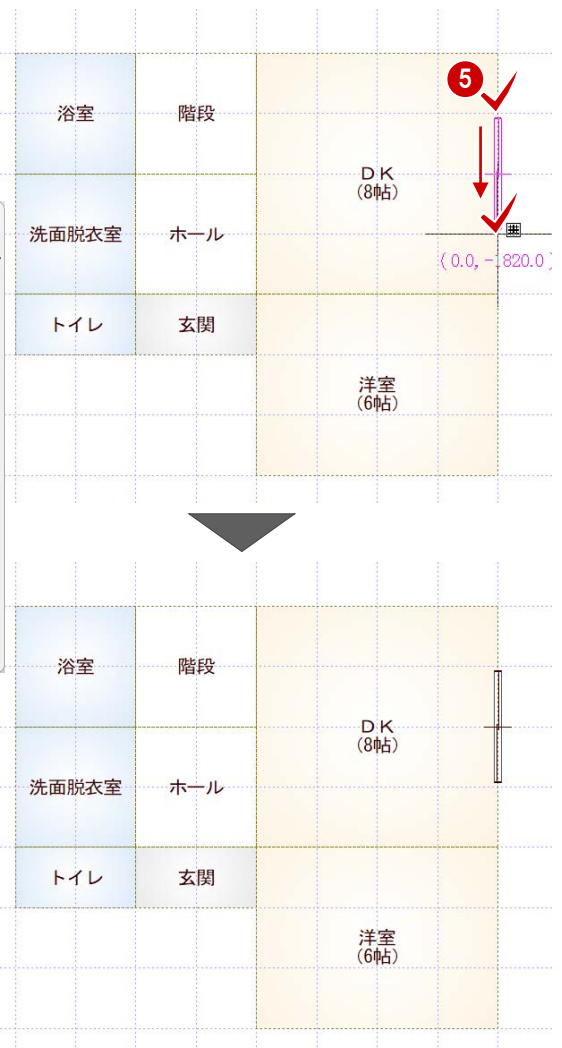
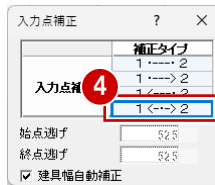
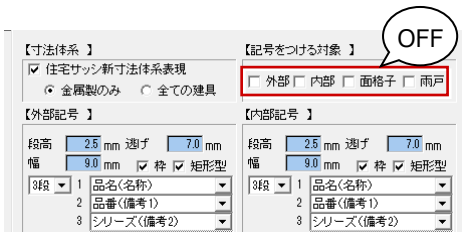


- 3 建具選択ダイアログの一覧から、「引違」の「単体引違 半外付」を選び、「16509」をダブルクリックして選択します。



- 4 「補正タイプ」を「1<--->2」に変更します。
- 5 建具の始点、終点をクリックします。

※ ここでは、建具記号が描画されないように「物件初期設定：建具 - 記号寸法」の【記号をつける対象】をOFFにしています。



### 建具の入力方向について

外部建具の場合、入力方向に関係なく、部屋領域から判断して建物外部に建具の外側が向くように自動設定されます。

内部建具の場合、始点→終点方向の右側が建具の内側になります。部屋の内部を中心に、時計回りで入力してください。

6 同様な操作で、以下のように建具を入力します。

→ : 入力方向



分類：室内建具>室内ドア・引戸・折戸  
種別：片開  
品名：浴室ドアW600\_H1800  
補正タイプ：1<---->2



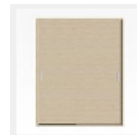
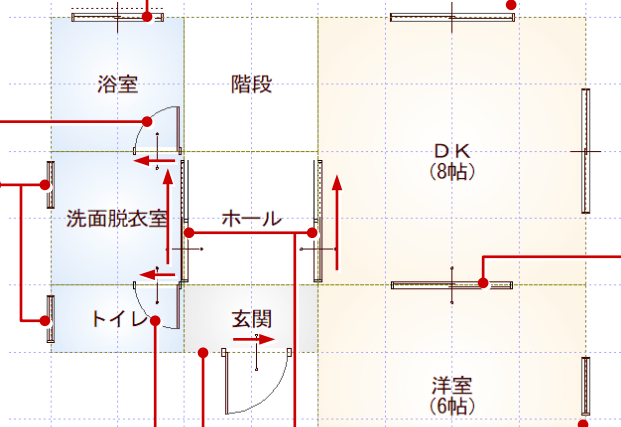
分類：サッシ>サッシ・勝手口  
種別：面格子付き引違 半外付  
品名：11907  
補正タイプ：1<--->2



分類：サッシ>サッシ・勝手口  
種別：単体引違 半外付  
品名：16507  
補正タイプ：1<--->2  
取付高：窓高 -350



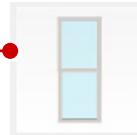
分類：サッシ>サッシ・勝手口  
種別：ガラスルーバー  
品名：06007  
補正タイプ：1<--->2



分類：室内建具>室内ドア・引戸・折戸  
種別：2枚引違戸  
品名：2枚引違\_木目横  
W1644\_H2023 エクルベージュ  
補正タイプ：1<--->2



分類：室内建具>室内ドア・引戸・折戸  
種別：片開  
品名：単体ドア トイレ\_木目横  
W640\_H2030 エクルベージュ  
補正タイプ：1<---->2



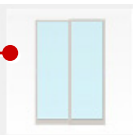
分類：サッシ>サッシ・勝手口  
種別：上げ下げ  
品名：07409  
補正タイプ：1<--->2



分類：玄関ドア・引戸>玄関ドア  
種別：片開き  
品名：玄関ドア W944\_H2330  
補正タイプ：1<--->2



分類：室内建具>室内ドア・引戸・折戸  
種別：片引戸  
品名：片引戸\_木目横  
W1644\_H2024 エクルベージュ  
補正タイプ：1<---->2



分類：サッシ>サッシ・勝手口  
種別：単体引違 半外付  
品名：16520  
補正タイプ：1<--->2

補足

建具の取付基準について

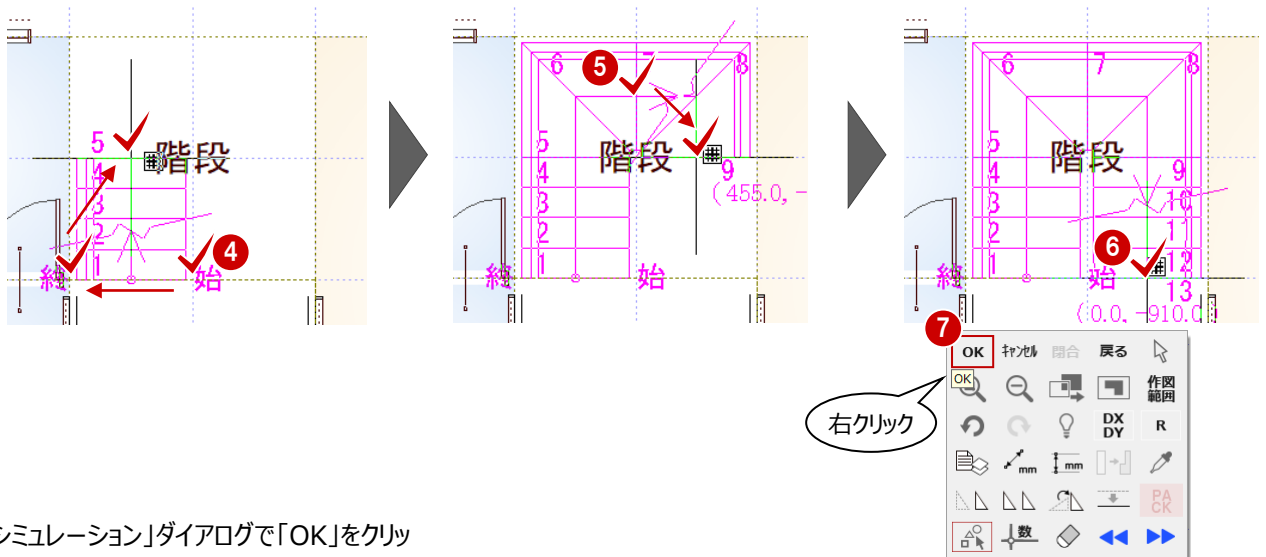
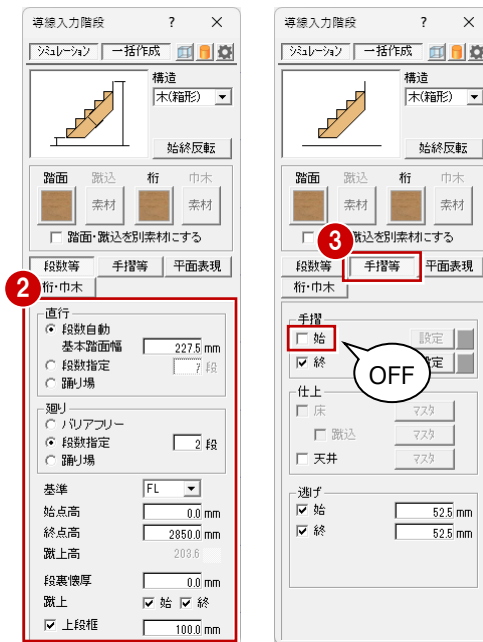
窓の場合、初期値では鴨居高に合うように配置されます。取付高を指定して入力したいときは、「鴨居高参照」のチェックをはずして「基準」と「取付高」を変更します。

戸の場合、初期値では部屋床高に合うように配置されます。取付高を指定して入力したいときは、「部屋床高参照」のチェックをはずして「基準」と「取付高」を変更します。

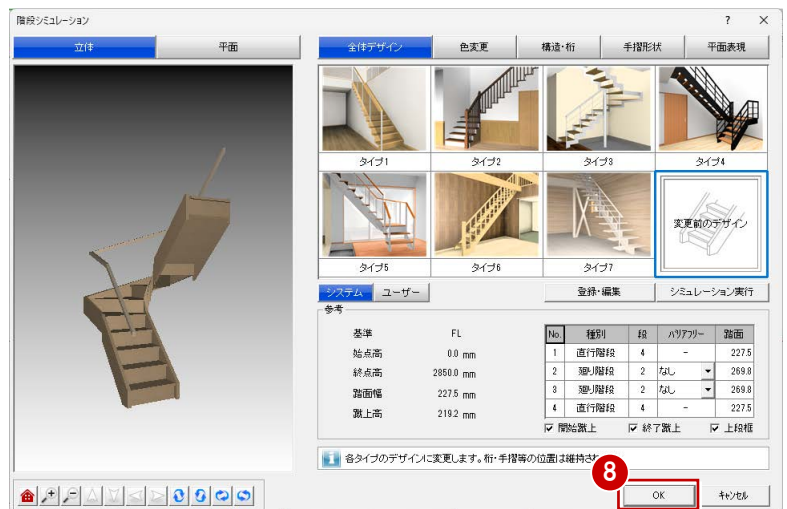
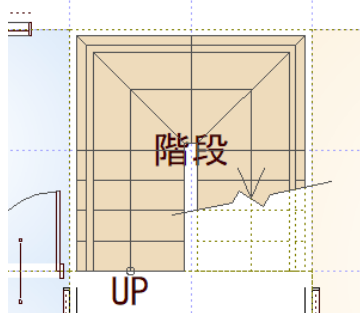


## 階段を入力する

- ① 「階段」をクリックします。  
導線入力階段ダイアログが表示されます。
- ② 段数や高さなどを確認します。
- ③ 「手摺等」をクリックして、ここでは手摺の「始」をOFFにします。
- ④ 階段の内側→外側→直行階段の終点の順にクリックします。
- ⑤ 続けて、廻り階段の終点位置をクリックします。
- ⑥ 直行階段の終点をクリックします。
- ⑦ マウスを右クリックして「OK」を選びます。



- ⑧ 「階段シミュレーション」ダイアログで「OK」をクリックします。



## 一括作成をする

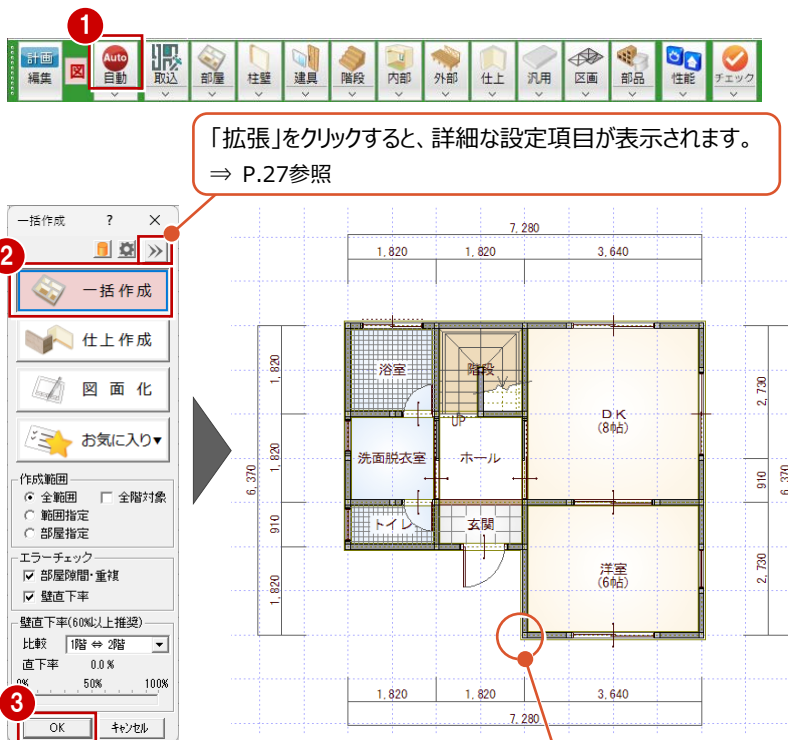
部屋データをもとに、管柱や壁、カマチ等の部材や、仕上を自動配置します。

- ① 「自動」をクリックします。
- ② ダイアログの「一括作成」が ON の状態であることを確認します。
- ③ 「OK」をクリックします。  
部屋線上に柱壁が配置され、仕上やカマチなどの部材も一気に配置されます。

### 一括作成後の仕上データの表示について

一括処理が終了した直後には、配置された仕上データのラインが表示されますが、他のコマンドを選択した時点で非表示になります。

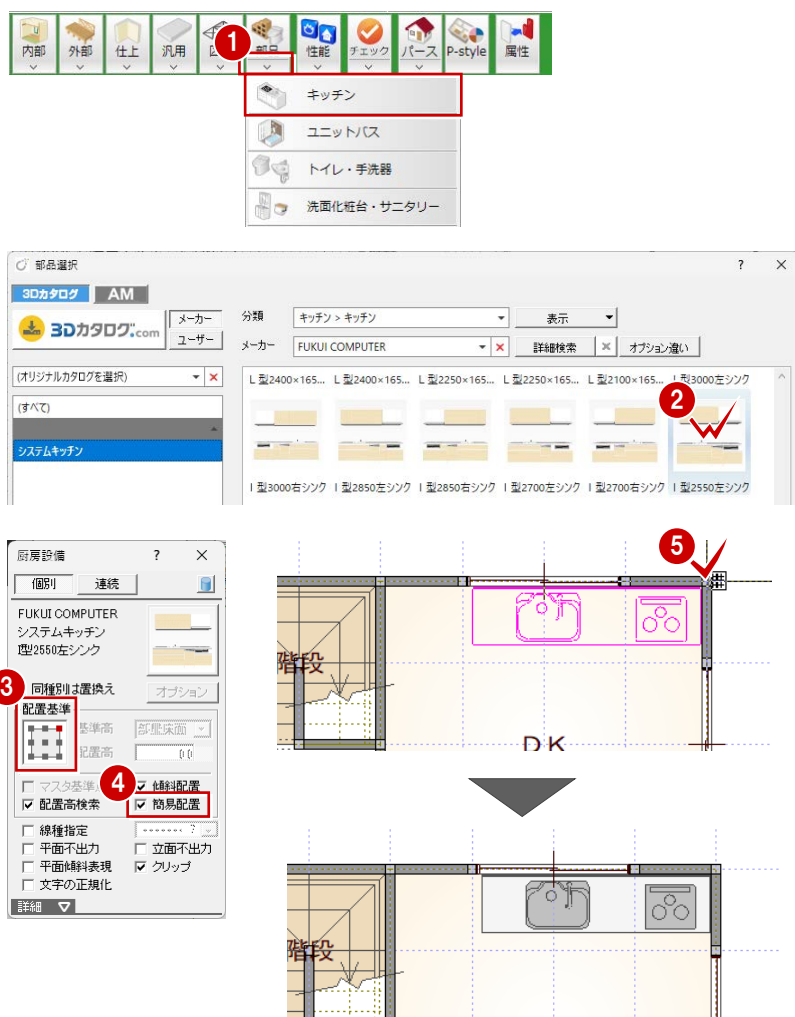
作業中に、仕上の表示／非表示を切り替えたい場合は、「表示」メニューの「仕上表示」を選びます。



## 設備機器を入力する

- ① 「部品」メニューから「キッチン」を選びます。
- ② 一覧から、「I 型 2550 左シンク」をダブルクリックして選択します。
- ③ 「厨房設備」ダイアログの「配置基準」の右上を ON にします。
- ④ 「簡易配置」が ON になっていることを確認します。
- ⑤ 位置を確認しながら配置位置をクリックします。  
マウスの位置を、壁側に近づけると、自動的にコンロ側が壁にフィットするように回転します。

- ※ 「簡易配置」を OFF にすると、任意の位置に部品を入力できます。

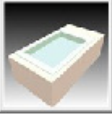


6 同様な操作で、以下のように部品を入力します。

※ AM の部品は、「部品選択」ダイアログの左上で切り換えます。




**AM**




分類：衛生設備>浴室  
品名：浴槽1 L1600  
配置基準：左上

**AM**

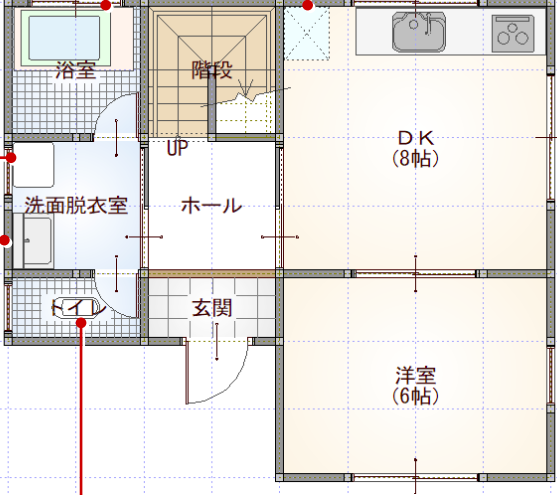


分類：電化製品>家事・住まい関連  
品名：洗濯機1  
配置基準：右上

**AM**



分類：洗面化粧台・サニタリー>洗面化粧台  
品名：洗面化粧台 (750)  
配置基準：左上

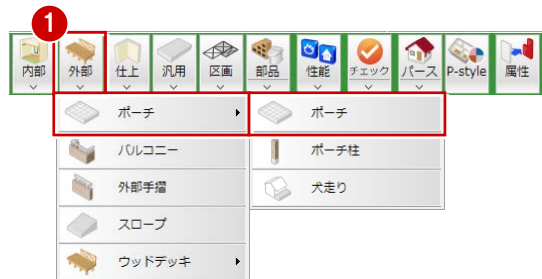


分類：生活家電>生活家電・家電製品  
品名：冷蔵庫 (600×1740)  
配置基準：左上

分類：トイレ・手洗器>便器  
品名：和式  
配置基準：中央

### ポーチを入力する

1 「外部」メニューから「ポーチ」の「ポーチ」を選びます。

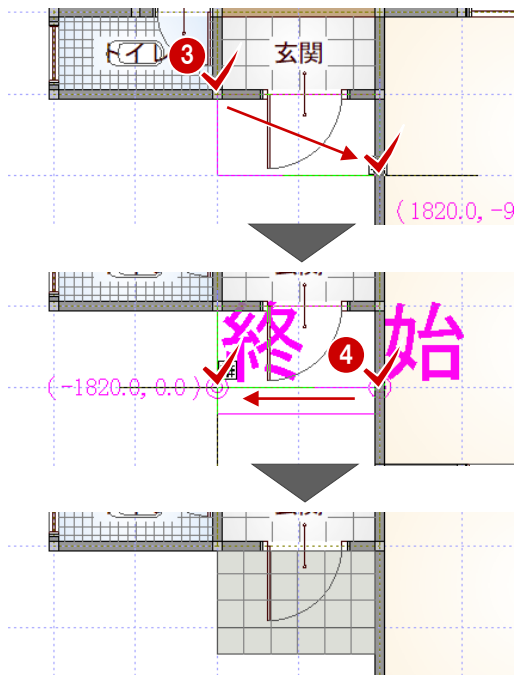


2 「壁考慮」がON、「段数」が2段になっていることを確認します。

※ 「壁考慮」をONにすると、壁の内部に入り込んでシンボルを入力しても、自動的に外壁の外側に合わせて領域が調整されます。



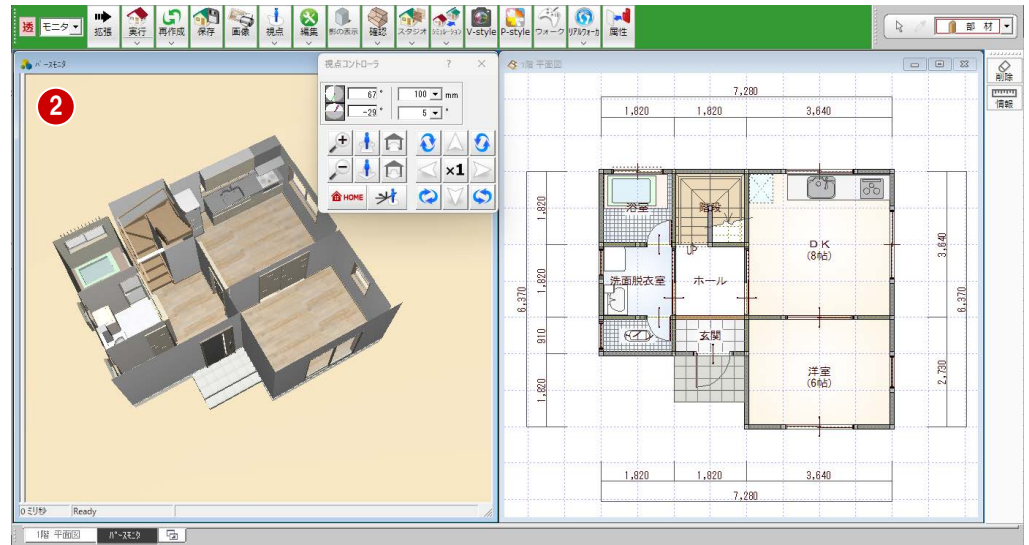
3 ポーチ上段部分の範囲を指定します。



4 下段の開始位置と終了位置をクリックします。2段のポーチが入力されます。

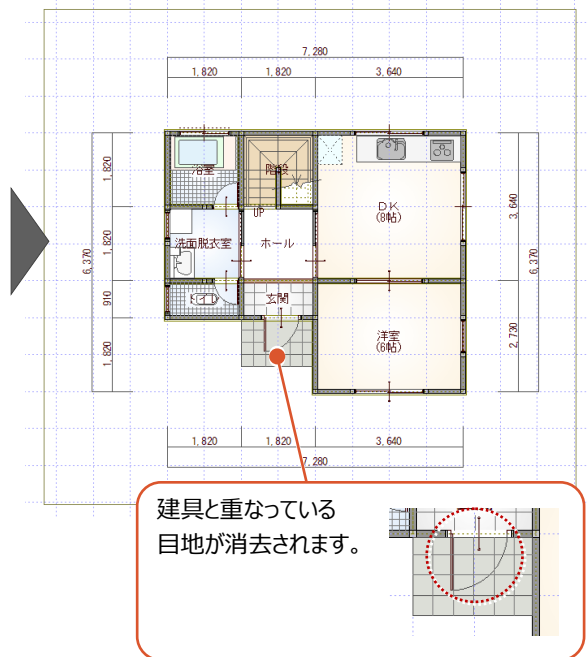
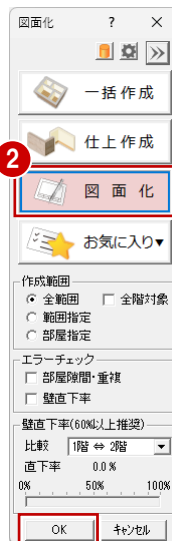
## 立体を確認する

- 1 「パースモニタ」をクリックします。
- 2 パースモニタで立体データを確認します。



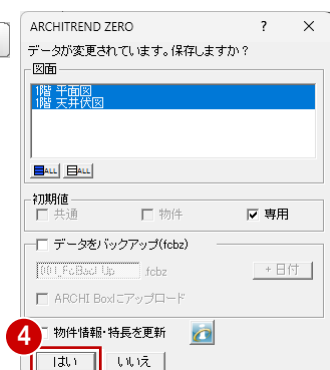
## 図面化をする

- 1 「一括作成」をクリックします。
- 2 「一括作成」ダイアログで、「図面化」をONにして「OK」をクリックします。



1 階平面図の作成が完了したので、データを保存します。

- 3 「上書き保存」をクリックします。
- 4 保存する図面を確認して「はい」をクリックします。



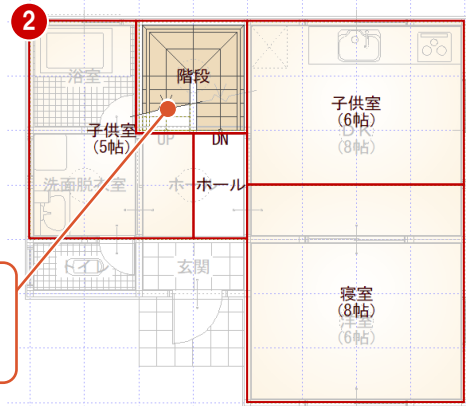
### 3-3 2階平面図の作成

同様な操作で、2階平面図を作成します。

① 「上階を開く」をクリックして、2階平面図を開きます。



② 右図のように部屋を入力します。



初めて2階平面図を開いたときは、1階で入力した階段が自動的に複写されます。

③ 右図のように建具を入力します。



① 分類：サッシ> サッシ・勝手口  
種別：上げ下げ  
品名：07409  
補正タイプ：1<--->2



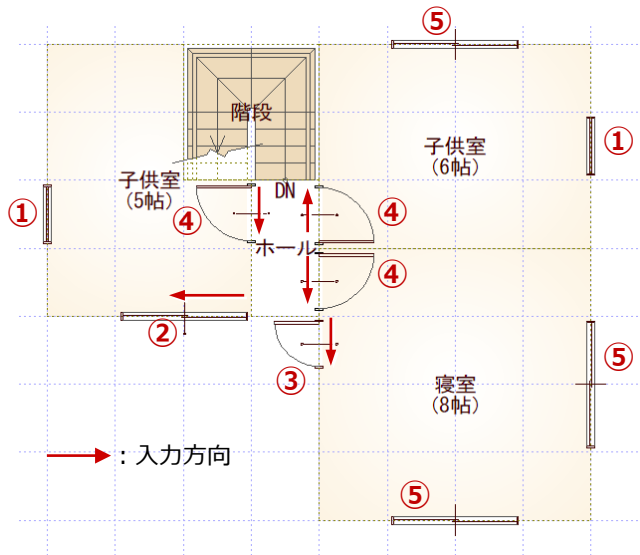
② 分類：サッシ> サッシ・勝手口  
種別：単体引違 半外付  
品名：16518  
補正タイプ：1---->2



③ 分類：サッシ> サッシ・勝手口  
種別：テラスドア  
品名：06018  
補正タイプ：1---->2

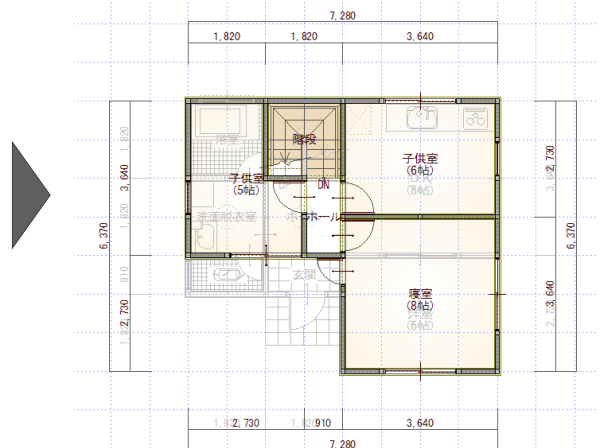
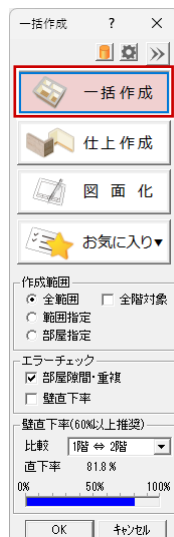


④ 分類：室内建具> 室内ドア・引戸・折戸  
種別：片開  
品名：単体ドア\_木目横  
W780\_H2030 エクルベージュ  
補正タイプ：1---->2



⑤ 分類：サッシ> サッシ・勝手口  
種別：単体引違 半外付  
品名：16509  
補正タイプ：1<--->2

④ 一括作成を行います。





## バルコニーを入力する

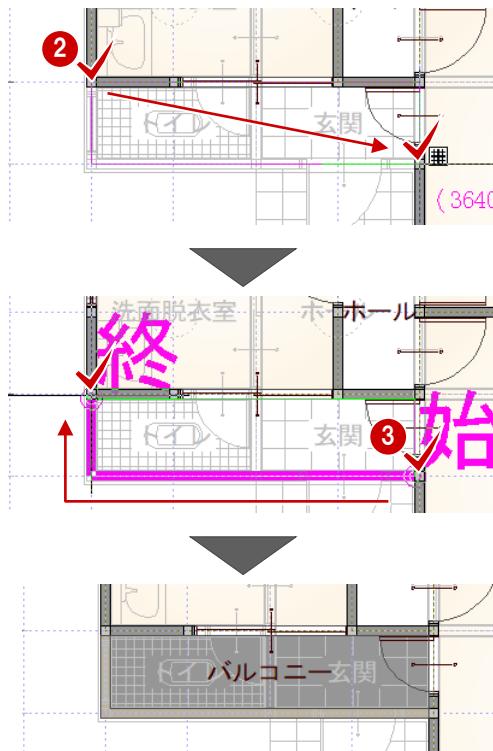
① 「外部」メニューから「バルコニー」を選びます。



② バルコニーの範囲を指定します。



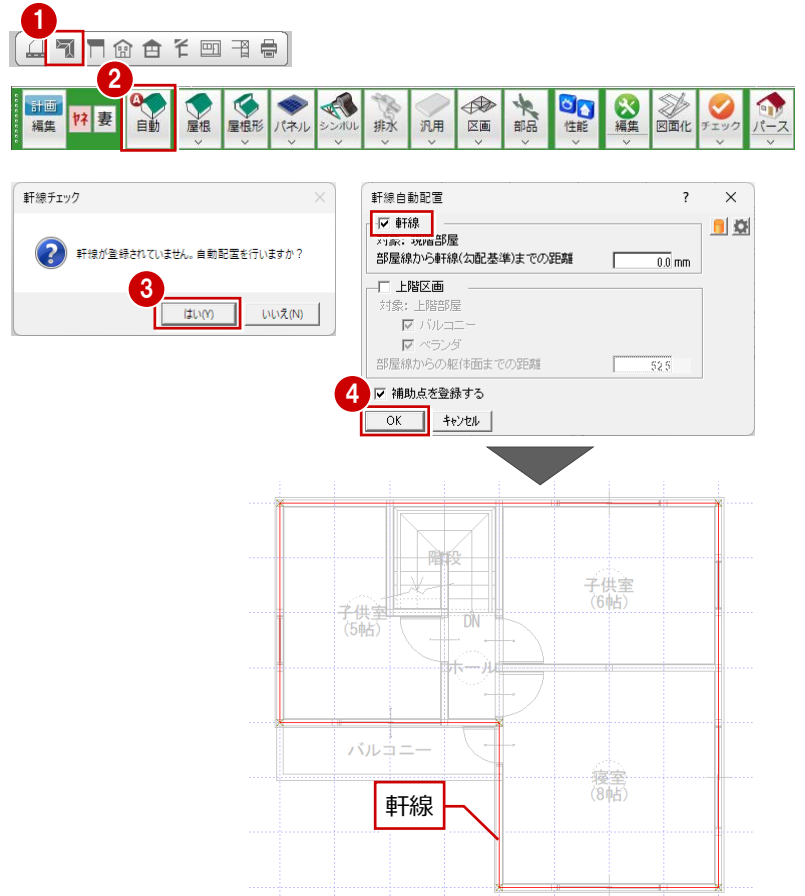
③ 手摺壁の開始位置と終了位置をクリックします。



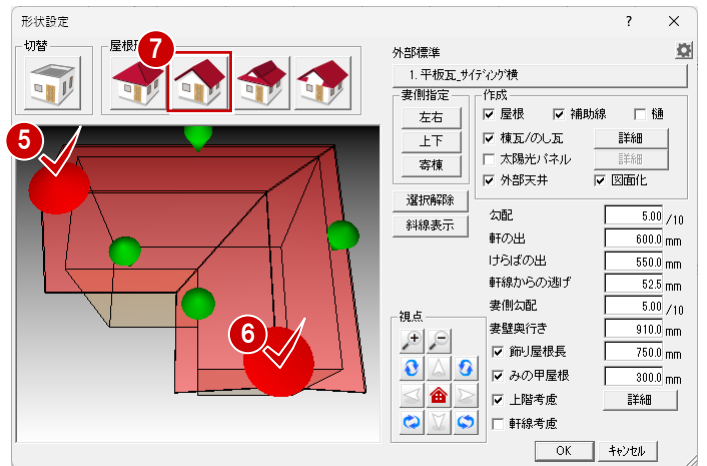
### 3-4 屋根伏図の作成

#### 屋根を作成する

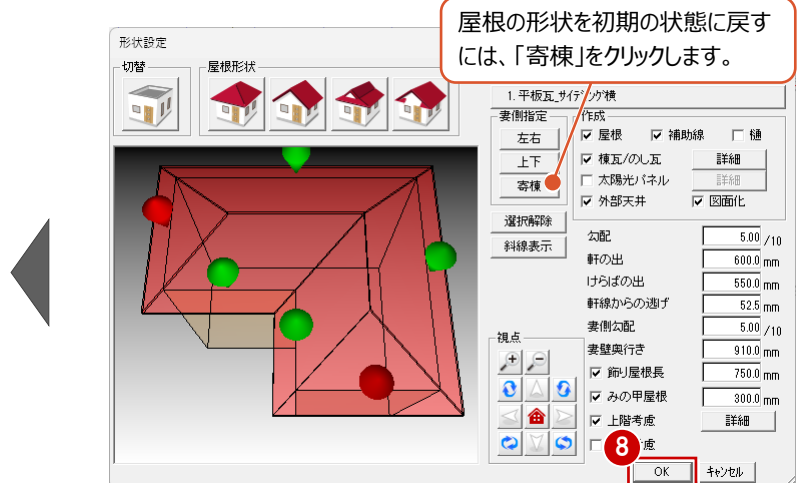
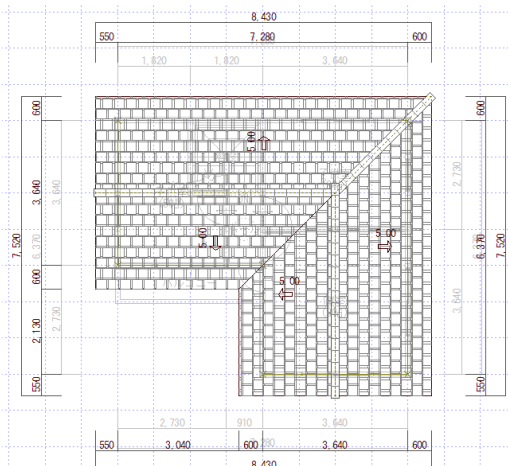
- ① 2階平面図のツールバーから「屋根伏図オープン」をクリックします。
- ② 「屋根自動配置」をクリックします。
- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。
- ④ 「軒線」にチェックが入っていることを確認して、「OK」をクリックします。  
軒線が自動配置されます。



- ⑤⑥ 「形状設定」ダイアログで、右図のように妻側となる位置のマーカをクリックします。
- ⑦ 「切妻」をクリックします。



- ⑧ 選択した屋根が切妻の表現に変更されたことを確認して、「OK」をクリックします。

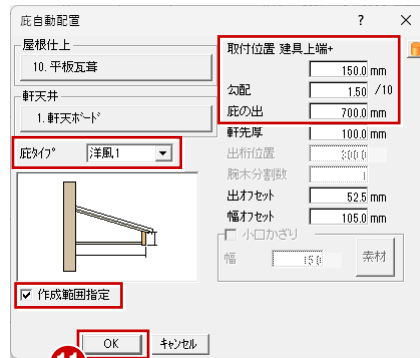


- 9 「下階を開く」をクリックして、1 階屋根伏図を開きます。
- 10 「屋根」メニューから「庇」の「庇自動配置」を選びます。

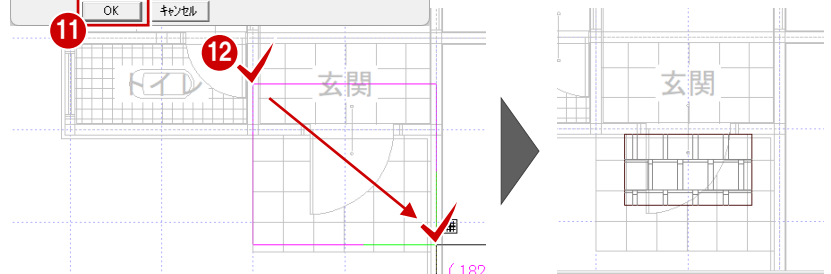


- 11 庇の形状や高さなどを設定します。ここでは、次のように設定して、「OK」をクリックします。

庇タイプ：洋風 1  
 取付位置：150  
 庇の出：700  
 作成範囲指定：ON



- 12 庇を配置する範囲（ここでは、玄関ドア部分）を指定します。指定した範囲内にある平面図の建具データを参照して、庇が自動配置されます。



### データを保存する

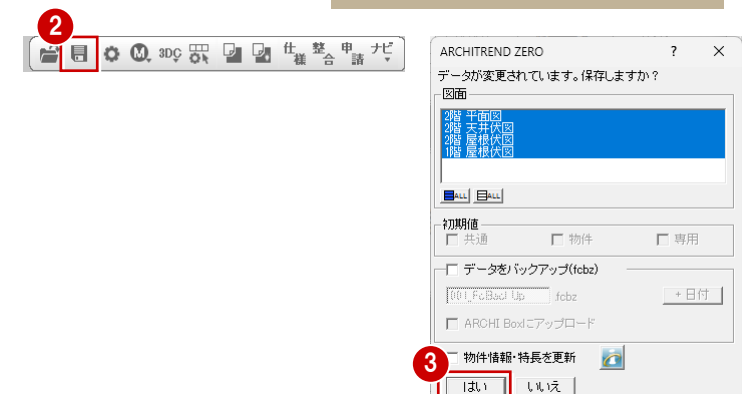
- 1 「パースモニタ」をクリックして、入力したデータを確認します。



屋根伏図の入力が完了したので、データを保存します。

※ データの保存は、このタイミングでなくても構いませんが、こまめに保存することをお勧めします。

- 2 「上書き保存」をクリックします。
- 3 保存する図面を確認して「はい」をクリックします。



## 3-5 配置図の作成

### 敷地を作成する

① 屋根伏図のツールバーから「配置図オープン」をクリックします。  
配置図のウィンドウが開き、建物区画が自動配置されます。

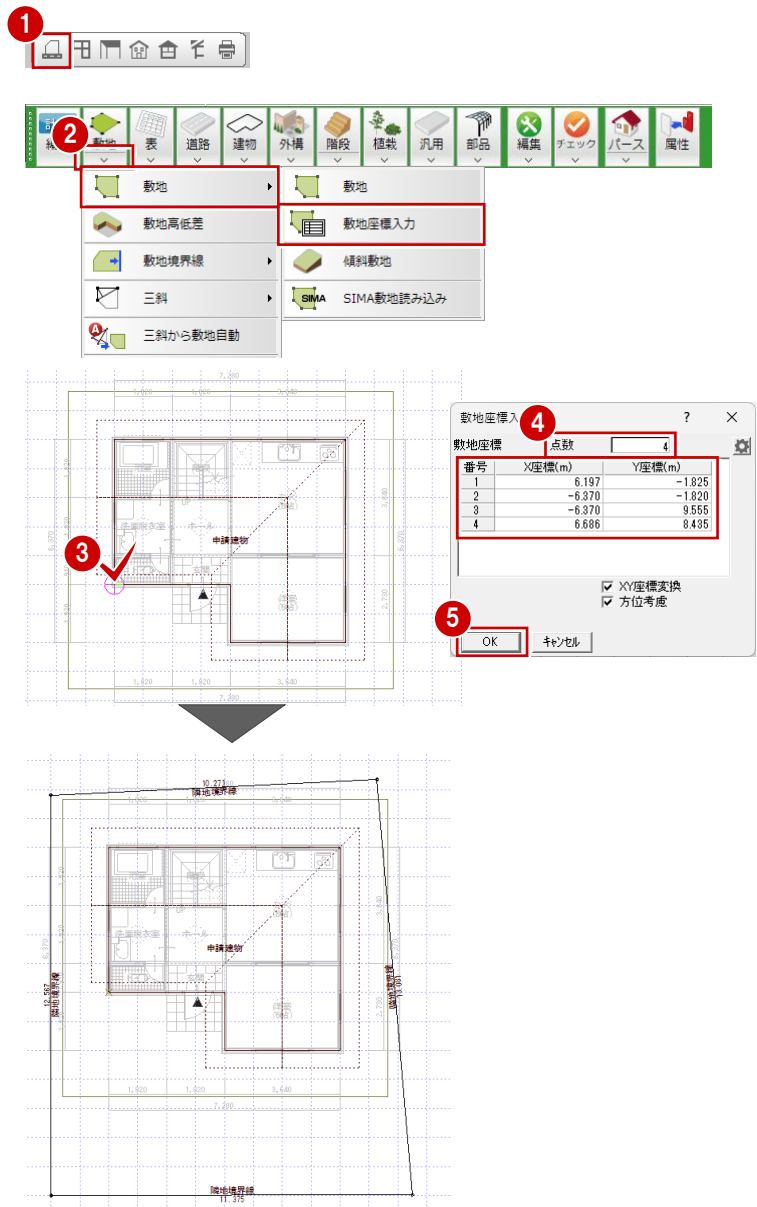
② 「敷地」メニューから「敷地」の「敷地座標入力」を選びます。

③ 敷地の基準点をクリックします。  
ここではバック図面の 1 階平面図のトイレの部屋の左下グリッドの位置をクリックします。

④ 点数を「4」に設定して、以下のように座標値を入力します。

番号	X座標	Y座標
1	6.197	-1.825
2	-6.370	-1.820
3	-6.370	9.555
4	6.686	8.435

⑤ 「OK」をクリックします。

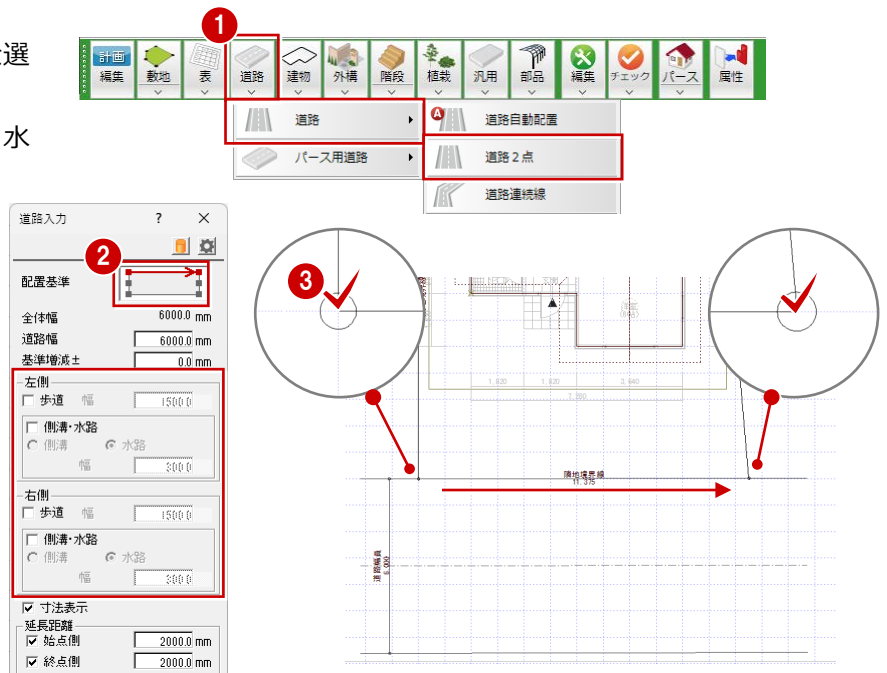


### 道路を作成する

① 「道路」メニューから「道路」の「道路 2 点」を選びます。

② ここでは、配置基準を左面、「歩道」「側溝・水路」を左側、右側ともに OFF にします。

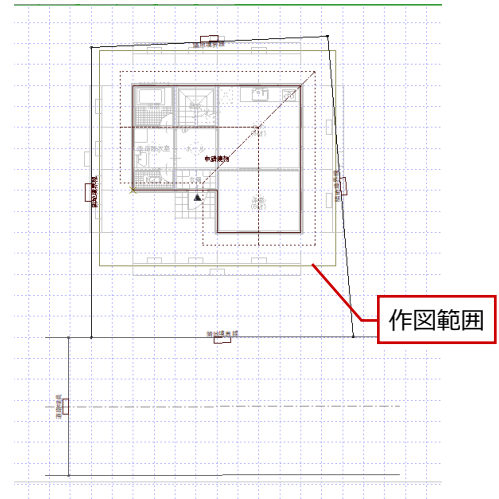
③ 道路の始点、終点をクリックします。  
敷地の左下、右下の角をクリックします。  
(ピックモード：端点)



## 作図範囲を再設定する

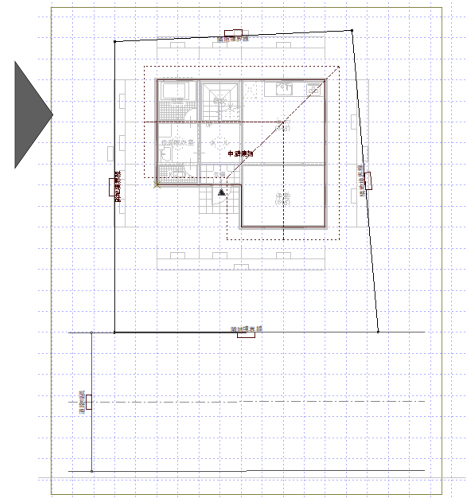
敷地と道路を入力したので、作図範囲を再設定します。

- 1 マウスを右クリックして「作図範囲」を選びます。



- 2 再度マウスを右クリックして「OK」を選びます。

入力されているデータの範囲に合わせて作図範囲が作成されます。



## 3-6 パースモニタデータの作成

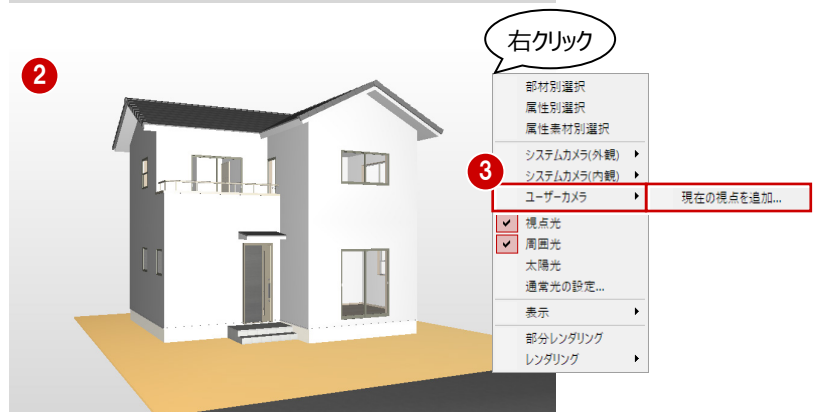
後の操作で作成する計画図で同じ視点で外観の比較ができるように、視点位置を保存して、現況のパース画像を作成しておきます。

### 視点を追加する

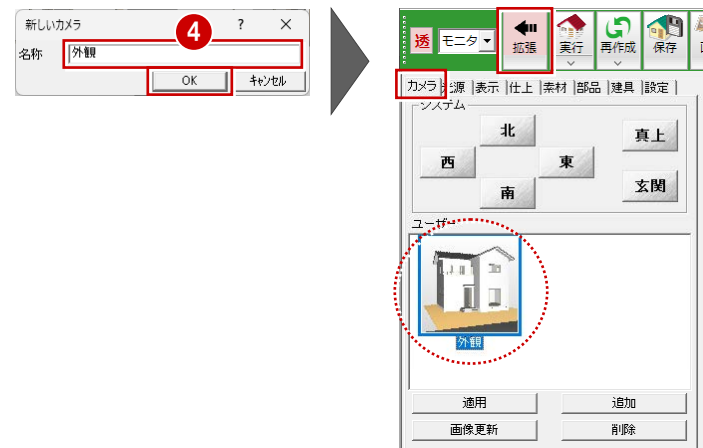
- 1 配置図で「パースモニタ」をクリックして、パースモニタを開きます。



- 2 パースモニタで視点を調整します。
- 3 モニタ上で右クリックして、「ユーザーカメラ」メニューの「現在の視点を追加」を選びます。

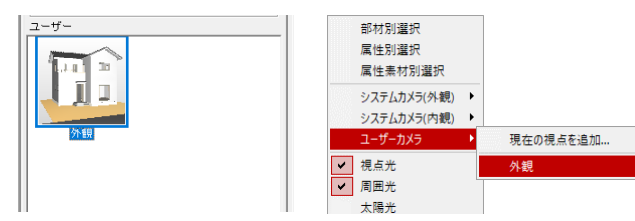


- 4 名称（ここでは「外観」）を入力して、「OK」をクリックします。  
登録した視点は、拡張画面の「カメラ」タブの「ユーザー」に追加されます。



### カメラの視点を呼び出すには

登録した視点を呼び出すには、拡張画面の「カメラ」タブの視点をクリック、または、モニタ上で右クリックして、「ユーザーカメラ」メニューから目的のカメラを選びます。



### カメラの名称を変更するには

拡張画面の「カメラ」タブの視点上で右クリックして「名称の変更」を選べると、名称を変更できる状態になります。

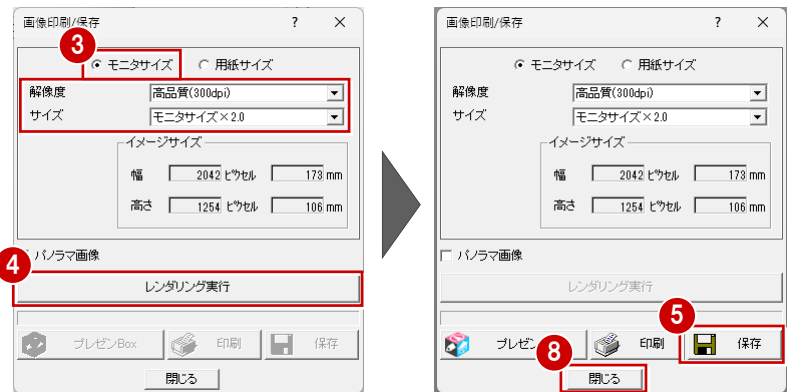


## 画像を作成する

- 1 「背景／光源変更」を「昼」に変更します。  
パースモニタの背景画像が「昼」に変更され、太陽光などの光源も同時に変更されます。
- 2 「画像印刷/保存」をクリックします。



- 3 解像度や作成する画像のサイズを次のように設定します。  
モニタサイズ：ON  
解像度：高品質（300dpi）  
サイズ：モニタサイズ×2.0
- 4 「レンダリング実行」をクリックします。
- 5 レンダリングが完了したら、「画像印刷/保存」ダイアログの「保存」をクリックします。



- 6 保存ファイル形式（ここでは「JPEG」）を選んで、「OK」をクリックします。



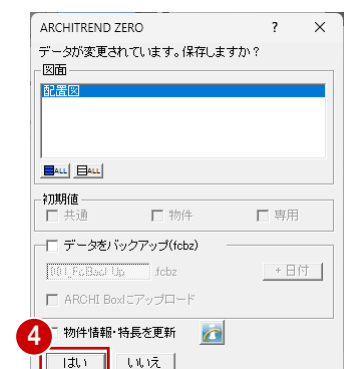
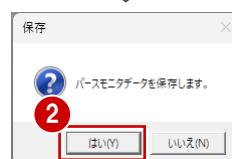
- 7 保存先とファイル名を指定します。  
ここでは、保存先はそのまま、ファイル名に「外観パース（現況）」と入力して、「保存」をクリックします。
- 8 「画像印刷/保存」ダイアログで「閉じる」をクリックします。



## データを保存する

ここでは、登録した視点や作成した画像を計画図でも使用するため、パースモニタのデータを保存します。

- 1 「保存」をクリックします。
- 2 確認画面で「はい」をクリックします。
- 3 「上書き保存」をクリックします。
- 4 保存する図面を確認して「はい」をクリックします。



パースモニタで保存できる立体データは1つです。立体データは常に上書きで保存されるため、前の立体データの状態を残すことはできません。ご注意ください。  
次回、保存されているパースモニタデータを読み込むには、「パース」メニューから「既存データ読込」を選んでパースモニタを開きます。

# 4

## 計画図の作成

### 4-1 計画図データの作成

現況図ができれば、現況図をコピーして計画図を作成します。  
 現況図の図面を並べて表示しながら、計画図を作成することもできます。

- 1 階平面図を開いて、「計画図を開く」をクリックします。
- 現況図から計画図にコピーする図面を指定します。  
 ここでは、「全図面」をONにして「OK」をクリックします。
- 現況図をコピーして新たに計画図の物件データが開きます。

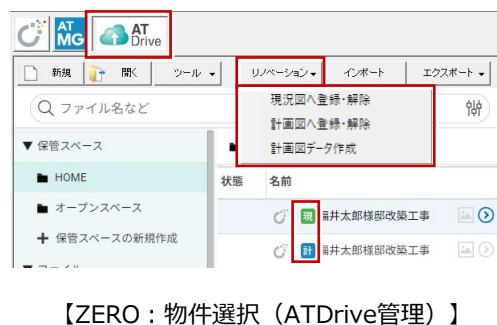
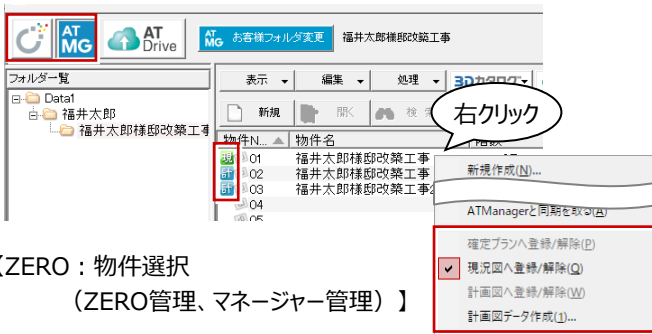
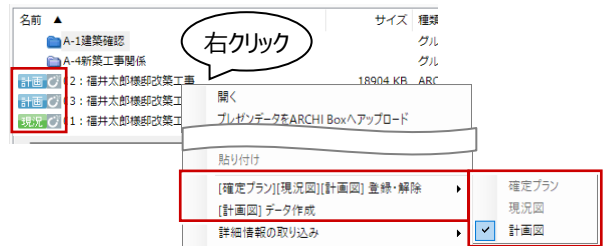


### 現況図/計画図の登録・解除について

現況図・計画図は、マネージャーやZEROの物件選択画面から登録・解除することができます。

既存の物件を現況図や計画図に登録することもでき、現況図や計画図に登録されているデータは、物件名の横にアイコンが表示されます。1つのフォルダに現況図は1つしか登録できません。計画図は複数登録できます。

現況図に登録されたデータは、現況図の登録を解除しないと削除できません。



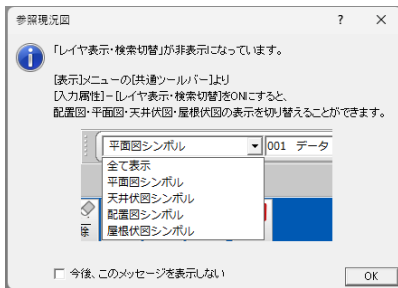


## 4-2 参照現況図の確認

参照現況図は、現況図物件データから図面が読み込まれます。

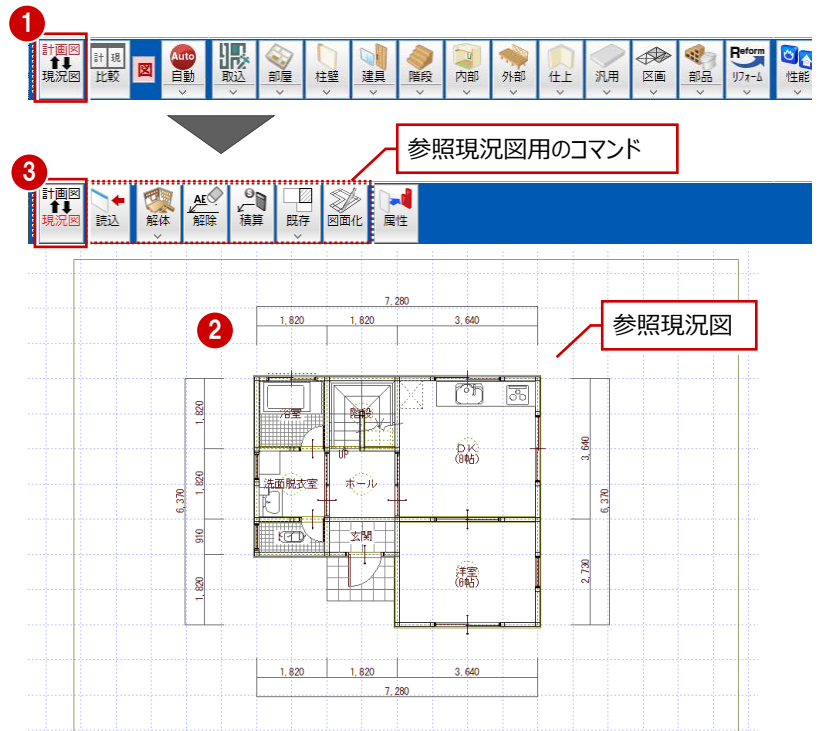
参照現況図では解体、撤去する部位の指示をすることで、図面への書き込みだけでなく積算へ解体費を集計させることができます。

- ① 「参照現況図を開く」をクリックします。
  - ② 参照現況図が開き、専用ツールバーも参照現況図用のコマンドに切り替わります。
- ※ 「レイヤ表示・検索切替」の確認画面が表示された場合は、「OK」をクリックします。



- ③ ここでは、確認のみとします。「計画図を開く」をクリックして計画図に戻ります。

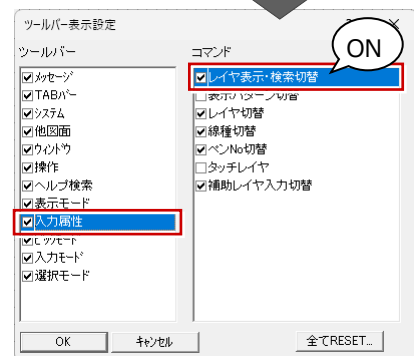
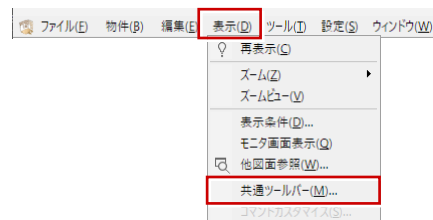
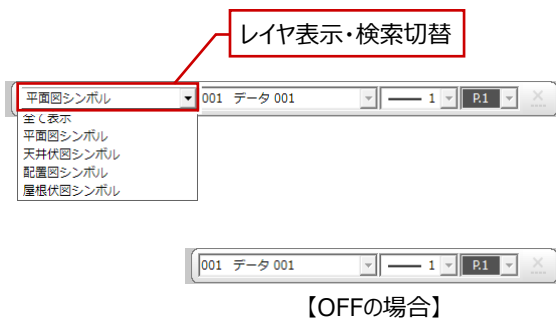
⇒ 参照現況図での解体指示については、リフォーム積算編 P.6 参照



### 確認画面が表示された場合は

「レイヤ表示・検索切替」がOFFになっている場合、確認画面が表示されます。

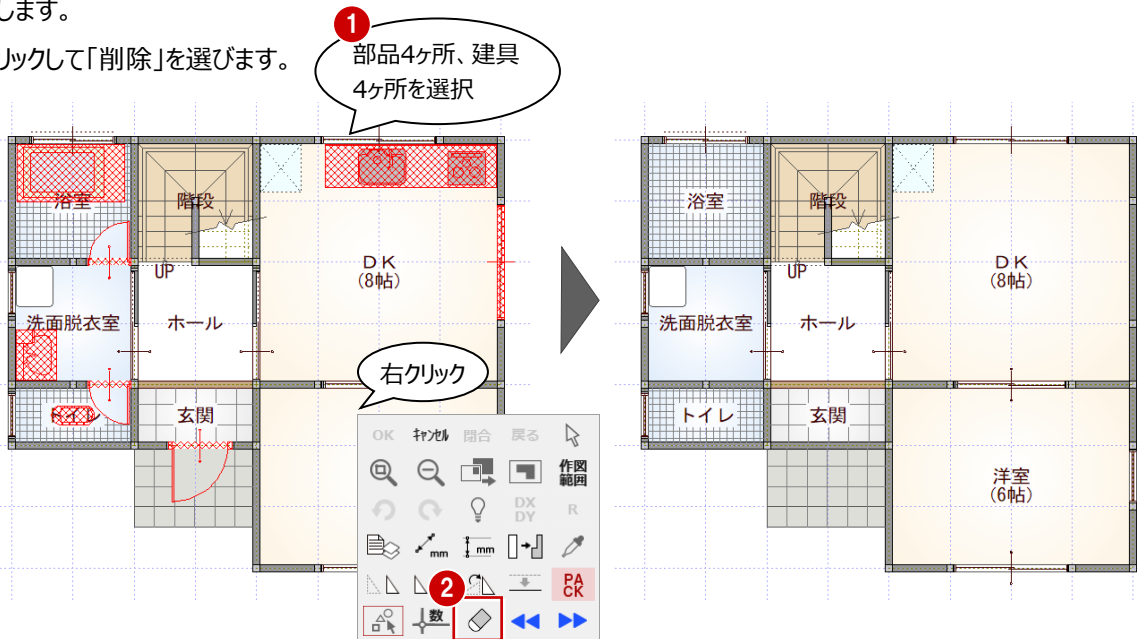
「表示」メニューの「共通ツールバー」から「レイヤ表示・検索切替」をONにすることで、参照現況図で平面図・天井伏図・配置図・屋根伏図の表示の切り替えができるようになります。



## 4-3 間取りの変更

### 不要なデータを削除する

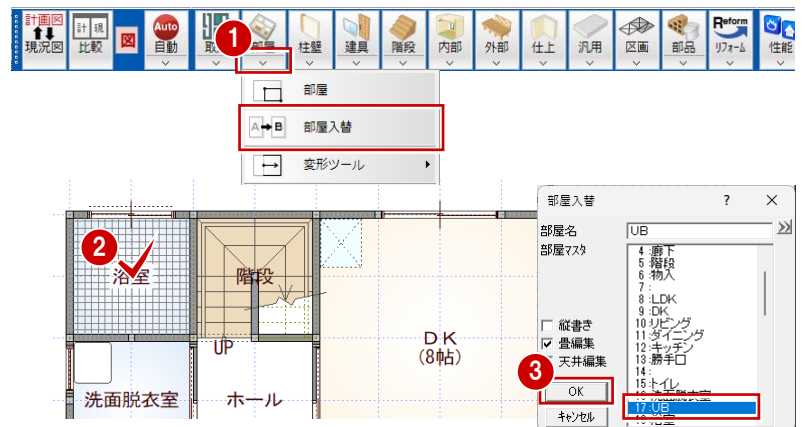
- 1 下のように、部品・建具を Ctrl キーを押しながら複数選択します。
- 2 マウスを右クリックして「削除」を選びます。



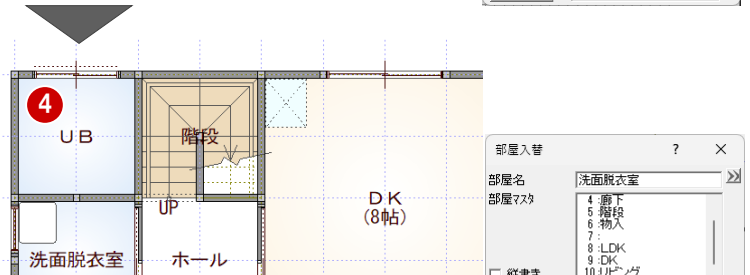
### 部屋を入れ替える

浴室、洗面脱衣室、トイレの部屋の仕様を入れ替えます。

- 1 「部屋」メニューから「部屋入替」を選びます。
- 2 入れ替える部屋（ここでは「浴室」）をクリックします。
- 3 「部屋入替」ダイアログで、一覧から入れ替える部屋（ここでは「17.UB」）を選んで、「OK」をクリックします。



- 4 浴室の部屋が UB の部屋の仕様に入れ替わります。



- 5 同様に、洗面脱衣室、トイレも入れ替えます。  
※ 部屋名は同じですが、床仕上が変わります。

洗面脱衣室：  
「クッションフロア（珪藻土下地）」→「クッションフロア」

トイレ：  
「100 角タイル」→「クッションフロア」



## 部屋を合成する

DKと洋室の部屋を合成してLDK1部屋にします。

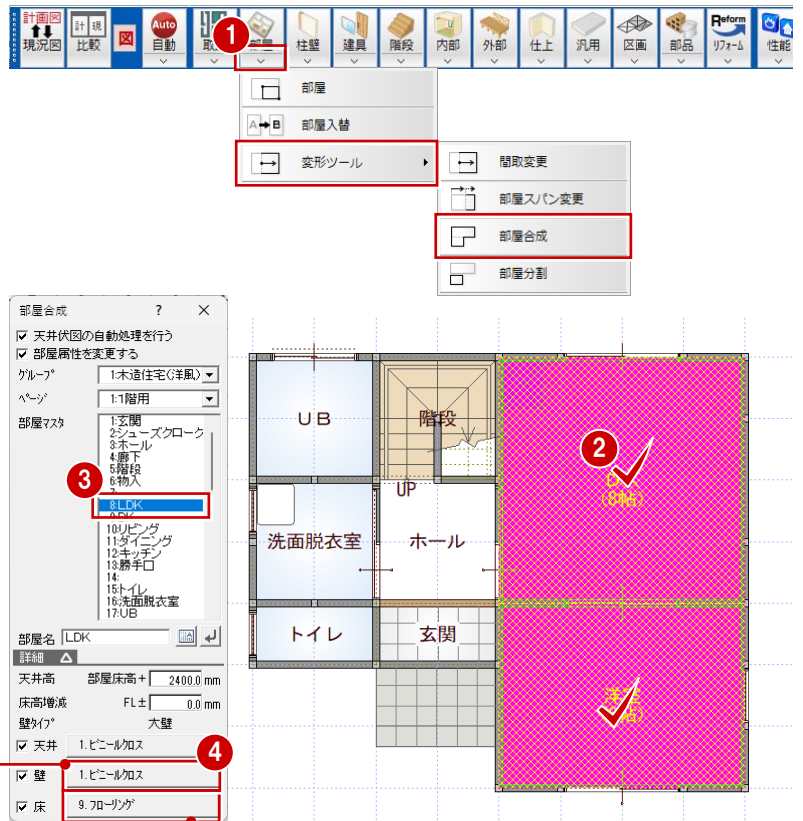
① 「部屋」メニューから「変形ツール」の「部屋合成」を選びます。

② DKと洋室の部屋をクリックします。

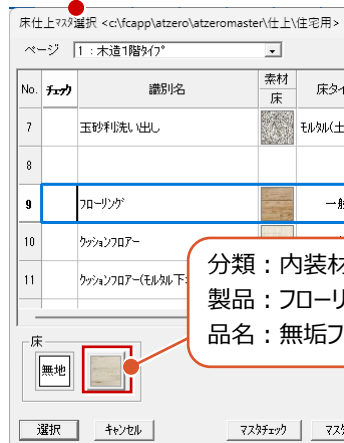
③ 「部屋合成」ダイアログで、部屋マスタの一覧から「8.LDK」を選びます。

※ 2部屋をどちらか1部屋に合成する場合は、合成後にする部屋を最初にクリックします。

④ 「詳細 △」をクリックして、ここでは壁仕上と床仕上の素材を変更します。

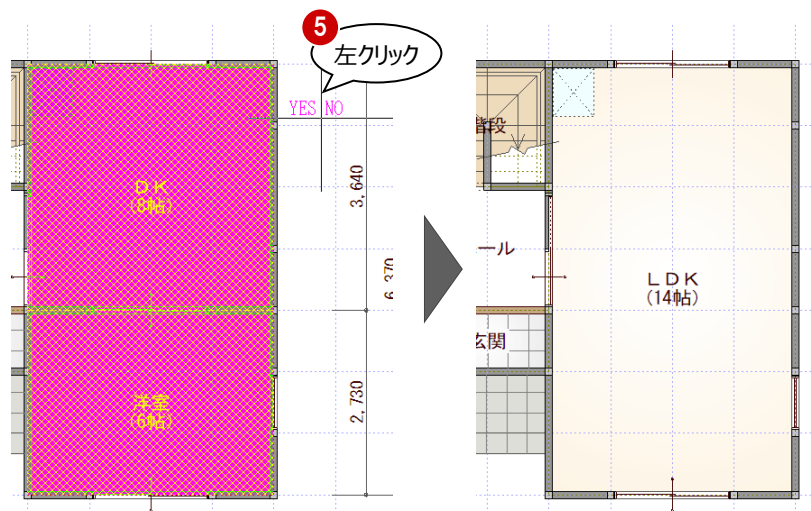


分類：内装材>クロス  
製品：クロス  
品名：キャンパス ベージュ  
キャンパス ベージュ



分類：内装材>フローリング・縁甲板  
製品：フローリング  
品名：無垢フローリング ホワイトオーク  
無垢フローリング...

⑤ マウスポインタに「YES」「NO」が表示されるので、マウスを左クリックしてYESを選びます。DKと洋室が合成してLDKの1部屋になります。



## 4-4 壁・仕上の編集

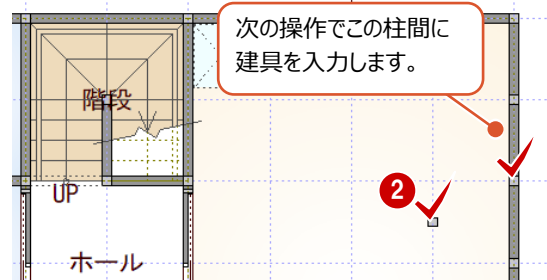
対面キッチン部分に柱と壁を入力して、仕上を再作成します。

### 柱壁を入力する

- ① 「柱壁」メニューから「柱」を選びます。

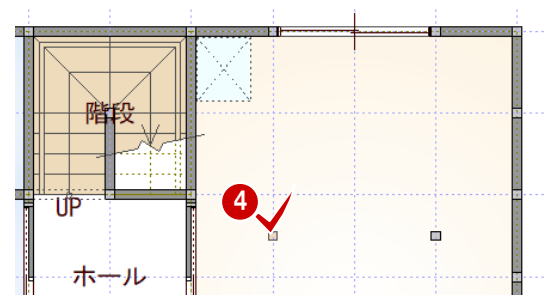
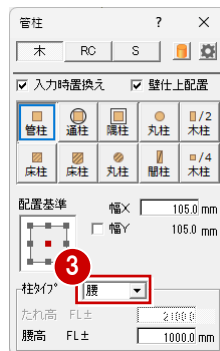


- ② 右図の位置に2か所柱を入力します。



- ③ 柱タイプを「腰」に変更します。

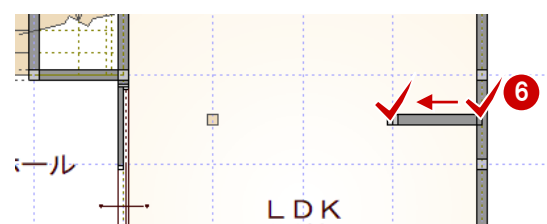
- ④ 右図の位置に入力します。



- ⑤ 「柱壁」メニューから「壁」を選びます。

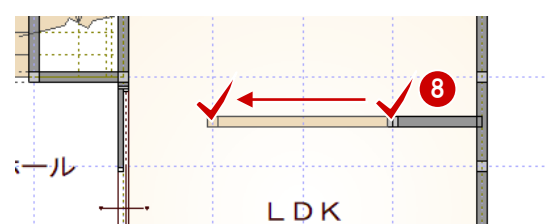
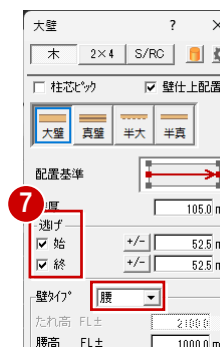


- ⑥ 右図の位置に入力します。



- ⑦ 壁タイプを「腰」、逃げを「始」「終」ともONに設定します。

- ⑧ 右図の位置に入力します。



## 仕上作成を行う

柱壁の追加で、内壁仕上は自動的に配置されますが、天井仕上は再配置が必要になります。また、壁の線が柱に食い込んでいるため、包絡処理を行います。

① 「一括作成」をクリックします。

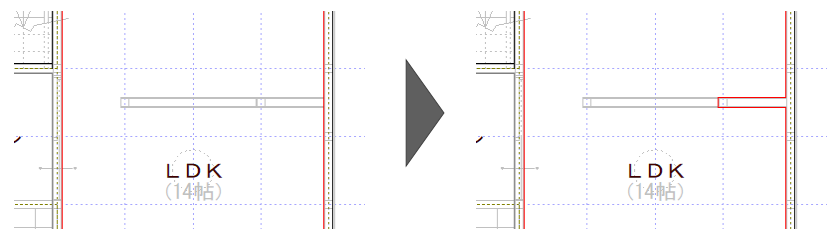
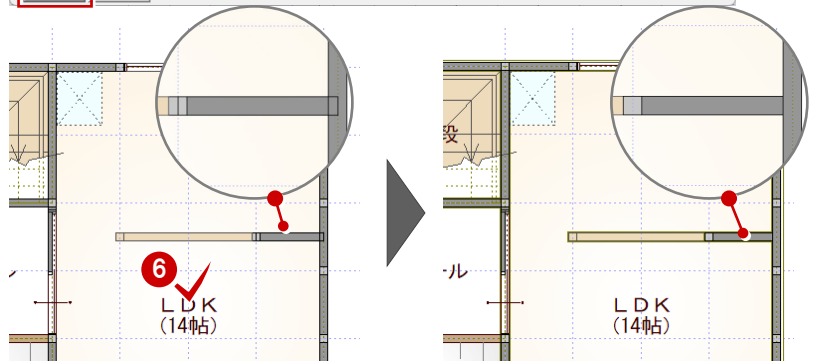
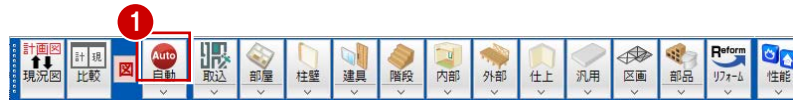
②③ 「仕上作成」を ON にして拡張ボタンをクリックします。

④ 仕上配置の「天井」のみ ON にします。「図面化処理」の「柱壁包絡」が ON になっていることを確認します。

⑤ 「部屋指定」を ON にして「OK」をクリックします。

⑥ LDK の部屋をクリックします。

天井仕上が再配置され、柱壁の線も処理されます。



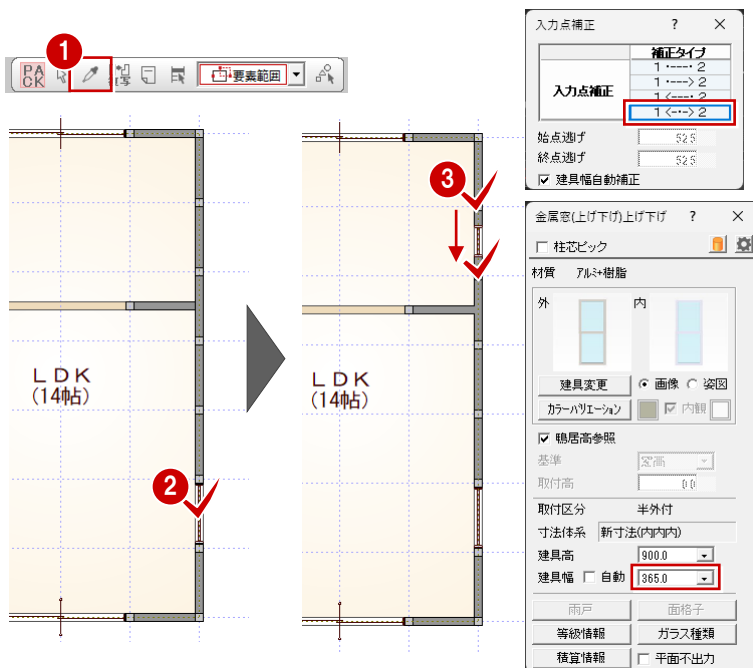
【天井伏図】

## 4-5 内装の変更

建具や部品を入力して、パースで立体を確認します。

### 建具を入力する

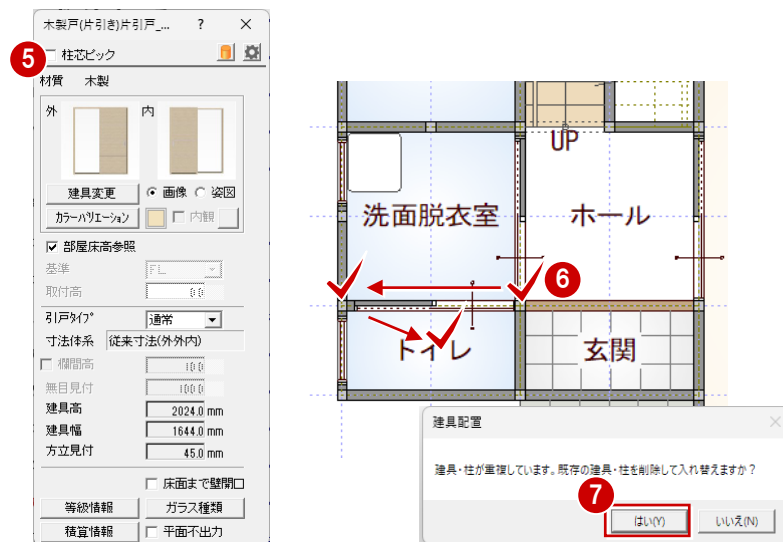
- 1 「スポット」をクリックします。
- 2 LDK 右下の上げ下げ窓をクリックします。
- 3 建具幅を「365」に変更して、右図の位置に入力します。  
(補正タイプ：1<--->2)



- 4 建具入力バーの「室内建具」メニューから「ドア・引戸・折戸」を選びます。

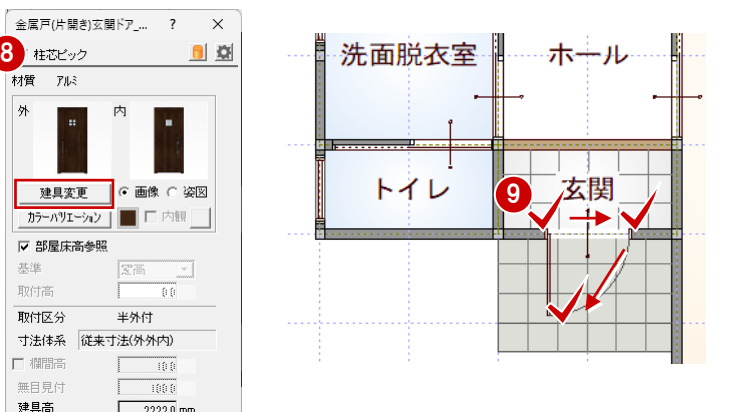


- 5 片引き戸の「片引戸\_木目横 W1644\_H2024 エクルページュ」を選びます。
- 6 トイレの部屋に入力します。  
(補正タイプ：1---->2)



- 7 確認画面で「はい」をクリックします

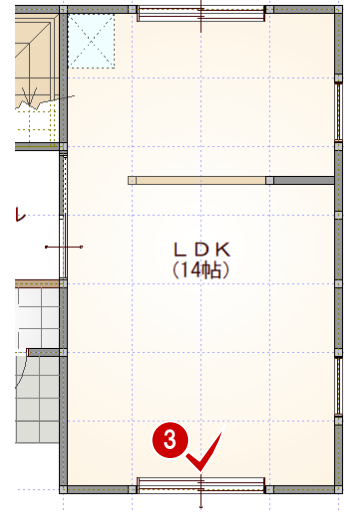
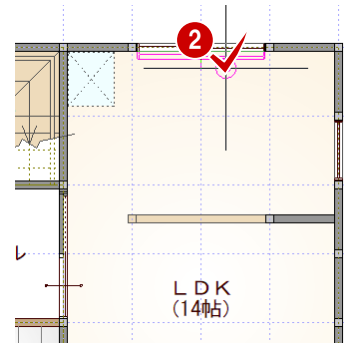
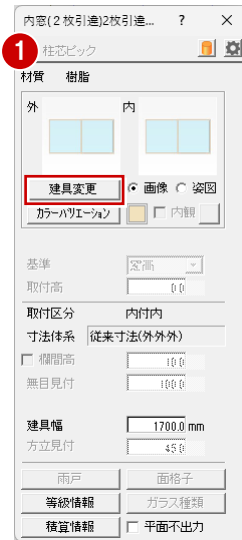
- 8 片引戸のダイアログの「建具変更」から、分類「玄関ドア・引戸」の「玄関ドア\_木調 W882\_H2222 (クラシックパイン)」を選びます。
- 9 玄関に入力します。  
(補正タイプ：1<--->2)



## 内窓を入力する

LDK の引違窓に内窓を配置します。

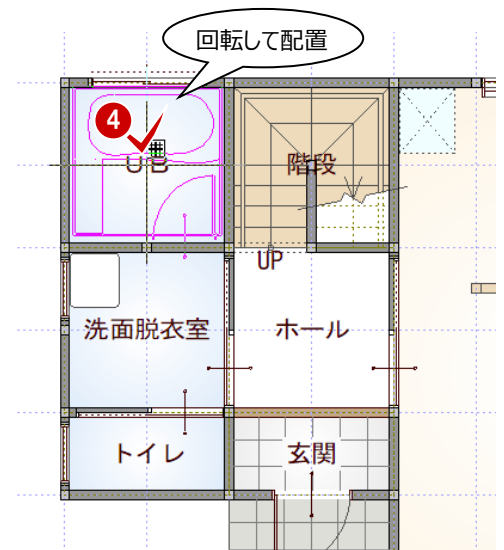
- 1 玄関ドアのダイアログの「建具変更」から分類「サッシ>内窓」の「2枚引違\_内窓」を選びます。
- 2 内窓を取り付ける建具をクリックします。クリックした建具と同じ幅・高さで内側に入力されます。
- 3 同様に、もう一方の引違窓にも内窓を取り付けます。



## 部品を入力する

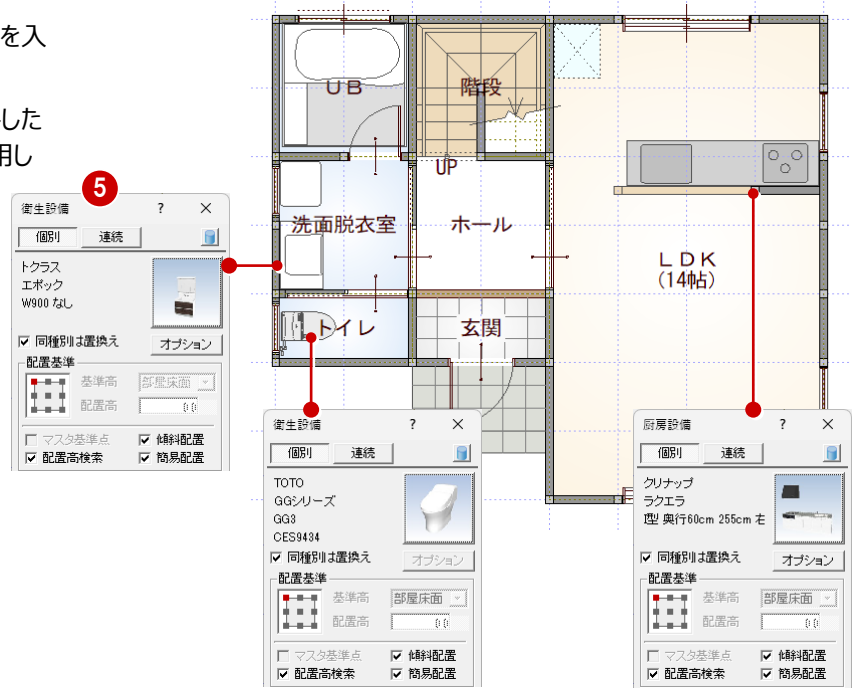
ユニットバス、洗面化粧台、トイレ、キッチンを入力します。

- 1 「部品」メニューから「ユニットバス」を選びます。
  - 2 入力するユニットバスを選択します。ここでは、3Dカタログ.com からダウンロードしたユニットバスを使用します。
- ※ 3Dカタログ.com から建材をダウンロードするには、3Dカタログ.com の有料会員が必要です。
- 3 「衛生設備」ダイアログで、配置基準を「中央」に変更します。
  - 4 部品の配置位置をクリックします。マウスの中ボタン、またはキーボードの無変換キーを押すと、部品を回転することができます。



- ⑤ 右図のように洗面化粧台、トイレ、キッチンを入力します。

※ ここでは 3D カタログ.com からダウンロードした部品を使用していますが、標準部品を使用しても構いません。

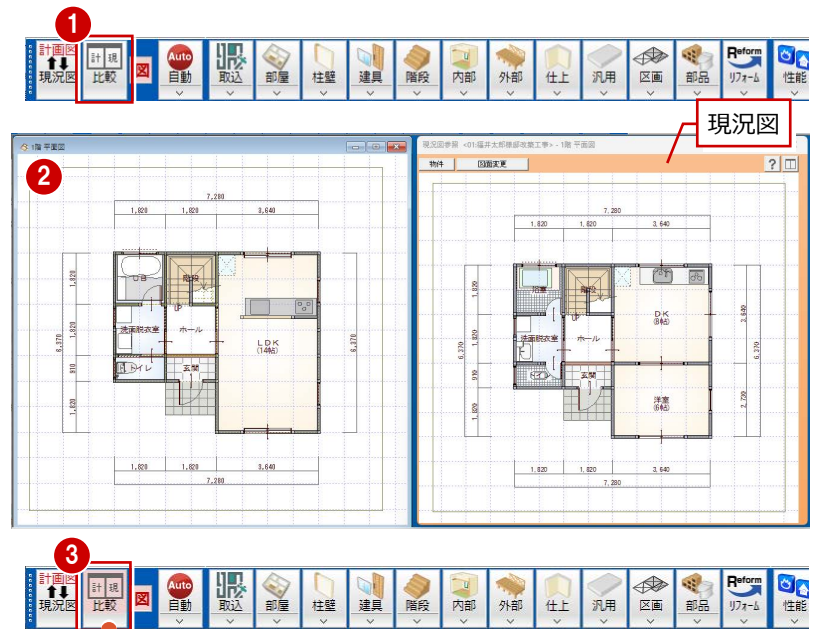


## 現況図と比較する

1 階の間取りを変更したので、現況図と比較します。

- ① 「計画図・現況図を並べて表示」をクリックします。
- ② 計画図と現況図の 2 画面表示に変わります。一方の図面を拡大・縮小・表示範囲の移動などを行うと、もう一方の図面も同様に画面表示が変わります。
- ③ 確認を終えたら、「計画図・現況図を並べて表示」をクリックして、計画図のみの表示に戻します。

※ 「計画図・現況図を並べて表示」は、平面図、配置図、天井伏図、屋根伏図、パースモニタ、耐震診断で行えます。



「計画図・現況図を並べて表示」が ON のときは、コマンドに色が付きます。



## 立体を確認する

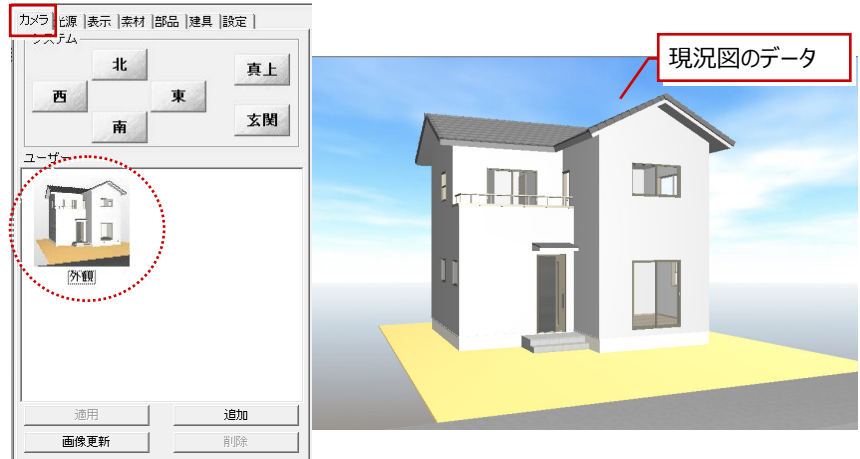
パースモニタを起動して、計画図の内観を確認します。

現況図でパースモニタのデータを保存したため、まず保存されたパースモニタのデータを開きます。

① 「パース」メニューから「既存データ読み込み」をクリックします。

パースモニタが起動し、保存されている現況図のデータが開かれます。

② 「拡張」をクリックして「カメラ」タブを確認すると、現況図のカメラが保存されていることが確認できます。



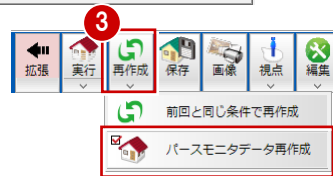
計画図のデータでパースを再作成します。

③ 「再作成」メニューから「パースモニタデータ再作成」を選びます。

④ 作成するパースの種類が「通常」、「開いている図面」が ON であることを確認して「OK」をクリックします。

計画図のデータでパースモニタが再作成されます。

⑤ 確認がしやすいように「背景／光源変更」を「モニタ」に変更して立体を確認します。



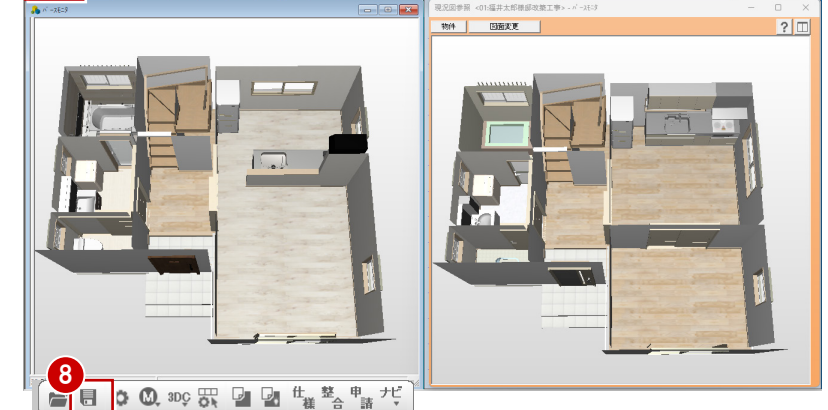
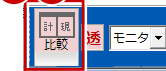
⑥ 「計画図・現況図を並べて表示」をクリックすると、計画図のパースモニタと並べて比較することができます。

※ 一方のパースモニタを拡大・縮小・回転など行くと、もう一方のモニタも同様に拡大・縮小・回転します。

⑦ 確認を終えたら、「計画図・現況図を並べて表示」をクリックして、計画図のみの表示に戻します。

⑧ 「上書き保存」をクリックして、作成した図面を保存します。

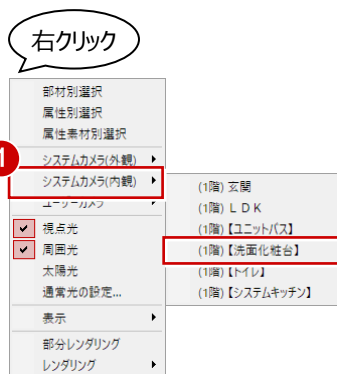
⑥ ⑦



## 素材を変更する

パースモニタで洗面脱衣室、トイレの壁の素材を変更します。

- 1 パースモニタで右クリックして、「システムカメラ（内観）」から「（1階）【洗面化粧台】」を選びます。  
視点が洗面化粧台を確認できる位置に移動します。



- 2 拡張メニューの「素材」タブをクリックして、変更する素材を選択します。  
ここでは、以下のように設定します。

部屋別：ON  
分類：内装材>クロス  
製品：壁材  
品名：リーフ模様（イエロー）

- 3 選択した素材を、洗面脱衣室の内壁にドラッグ & ドロップします。  
洗面脱衣室の内壁の素材が変更されます。



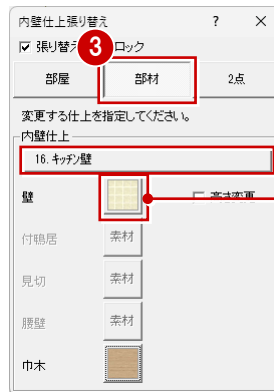
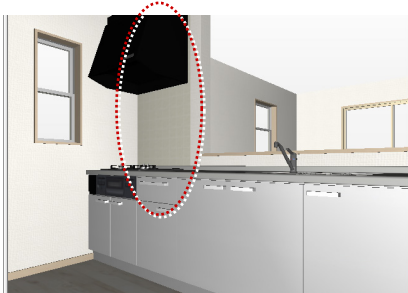
- 4 同様に、トイレの内壁には「リーフ模様（グリーン）」をドラッグ & ドロップします。



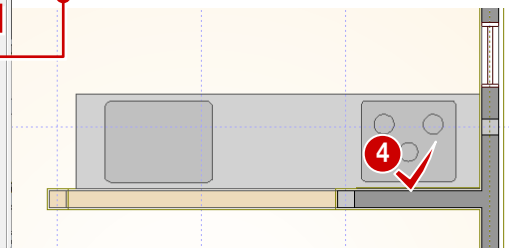
## 内壁仕上を張り分ける

キッチン部分の素材をタイル調に張り替えます。

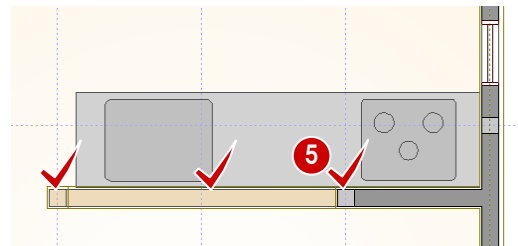
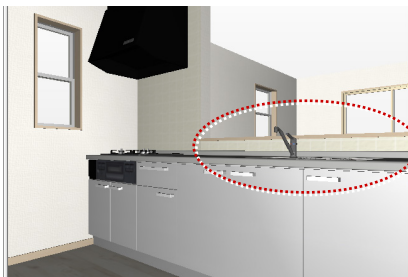
- ① 1階平面図を開きます。
- ② 「仕上」メニューから「内壁」の「仕上張り替え」を選びます。
- ③ 「内壁仕上張り替え」ダイアログで、「部材」をON、内壁仕上を「16.キッチン壁」、壁の素材を「キッチンタイル クリーム」に変更します。
- ④ 右図のように、キッチンのコンロ部分の通常壁をクリックします。



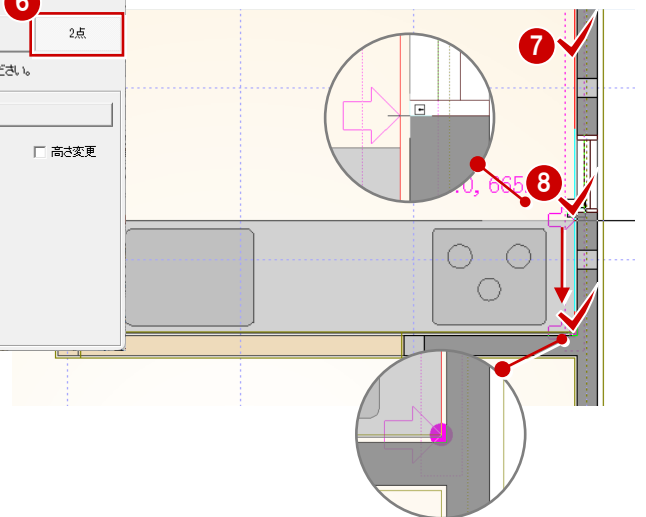
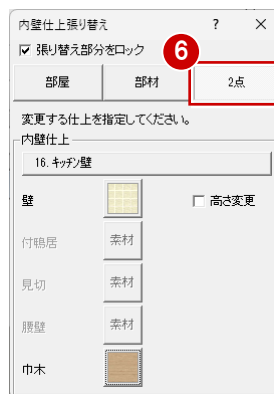
分類：内装材>タイル・石材  
種別：キッチンタイル  
品名：キッチンタイル クリーム



- ⑤ 同様に、柱、腰壁、腰柱の内壁仕上もクリックします。

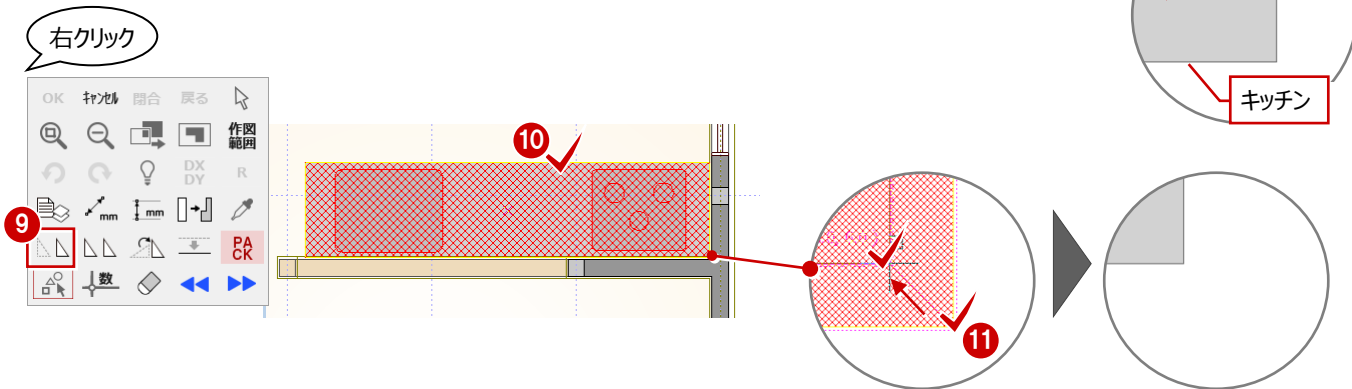


- ⑥ 「内壁仕上張り替え」ダイアログで、「2点」をONにします。
- ⑦ キッチン横の内壁仕上をクリックします。
- ⑧ 仕上を張り替える始点、終点をクリックします。(ピックモード：交点)



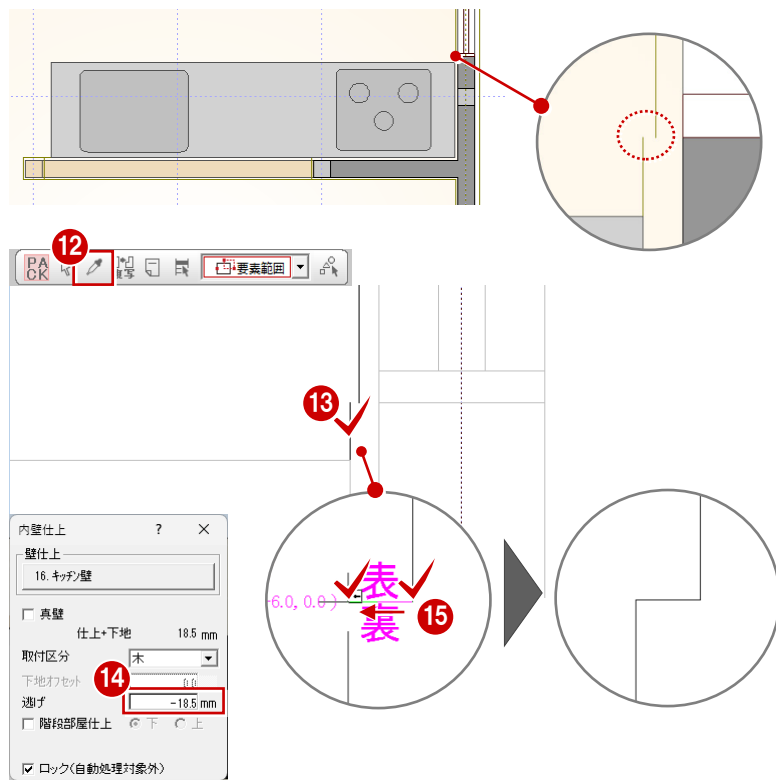
「表示」メニューから「仕上表示」を ON にすると、キッチンが張り替えたキッチンタイルに入り込んでいることが確認できます。  
ここでは、キッチンタイルの位置に合わせてキッチンを移動します。

- 9 マウスを右クリックして「移動」を選びます。
- 10 キッチンをクリックします。
- 11 基準とする位置と移動先をクリックします。

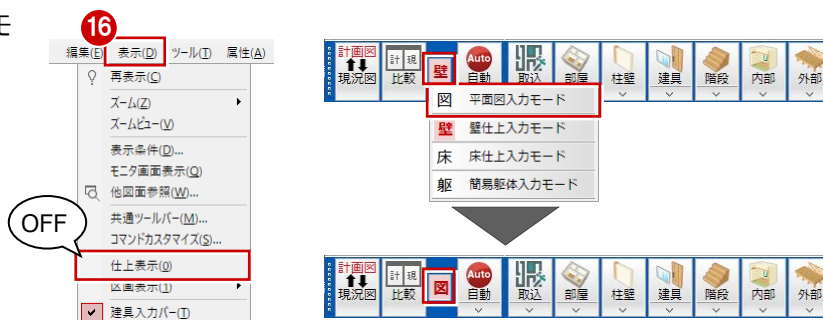


キッチン側面のキッチンタイルと内壁仕上に隙間ができていますので、キッチンタイルをスポイトして隙間に入れます。

- 12 スポイトをクリックします。
  - 13 キッチンタイルをクリックします。
  - 14 「内壁仕上」ダイアログで、逃げを「-18.5」に設定します。
- ※ 逃げが0の場合、入力する時に仕上+下地の18.5mmオフセットされます。逃げを-18.5mmすることで、オフセットが0となりクリックした位置が内壁仕上の入力位置になります。
- 15 内壁仕上の端点をそれぞれクリックします。  
(ピックモード：端点)

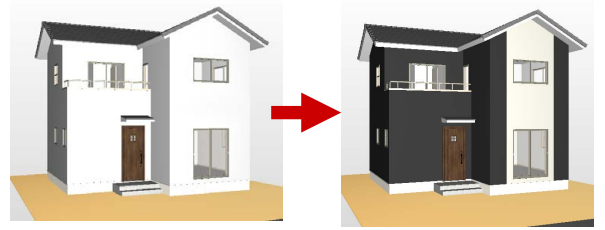


- 16 「表示」メニューの「仕上表示」を OFF、入力モードを「壁仕上入力モード」から「平面図入力モード」に戻しておきます。



## 4-6 外装の変更

ここでは、外壁仕上を全体的、部分的に張り替えます。



### パースモニタを再作成する

外観の確認がしやすいように、パースモニタに建物全体を表示します。

- ① パースモニタを開いて、「再作成」メニューから「パースモニタデータ再作成」を選びます。
- ② 作成するパースの種類を「通常」、対象図面を「すべての図面」に設定します。
- ③ 「OK」をクリックします。  
全図面のデータでパースモニタが再作成されます。



### 外壁仕上を全面張り替える

- ① 1階平面図で、「仕上」メニューから「外壁」の「仕上張り替え」を選びます。
- ② 「外壁仕上張り替え」ダイアログで、以下のよう  
に設定します。  
全面：ON  
全ての階：ON  
壁の素材：「外装材」>「窯業系サイディング」  
の「ストーン調 チャコール」
- ③ 「実行」をクリックして、確認画面で「はい」をクリックします。  
2階平面図が開き、1階、2階すべての外壁仕上  
が張り替えられます。
- ④ 張り替えが終わったら、確認画面で「OK」をクリックします。



## 外壁仕上を部分で張り替える

① 「外壁仕上張り替え」ダイアログで、以下のよう  
に設定します。

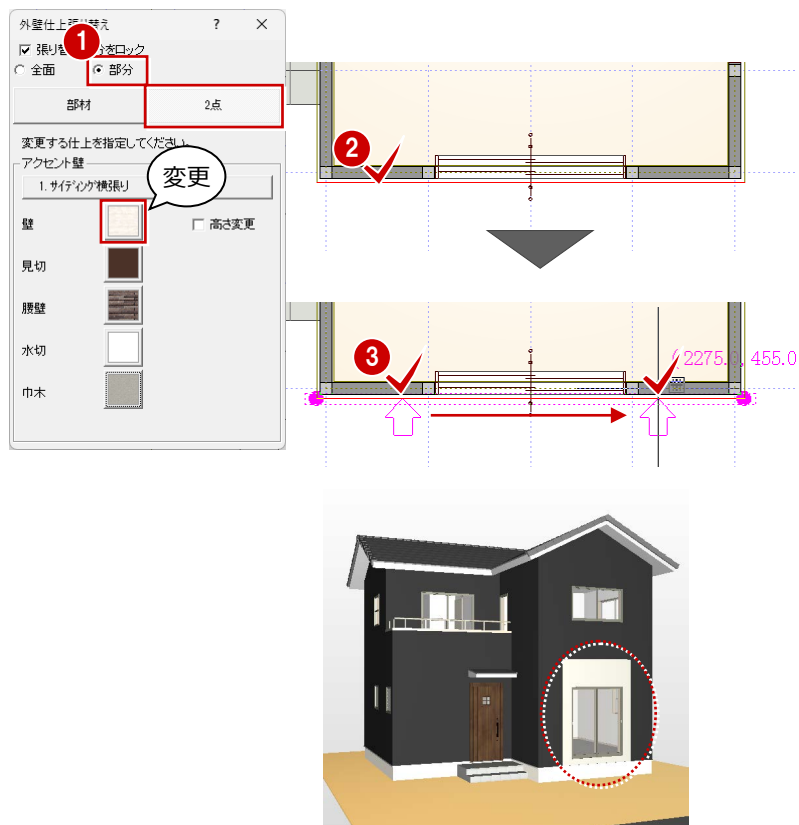
部分：ON

2点：ON

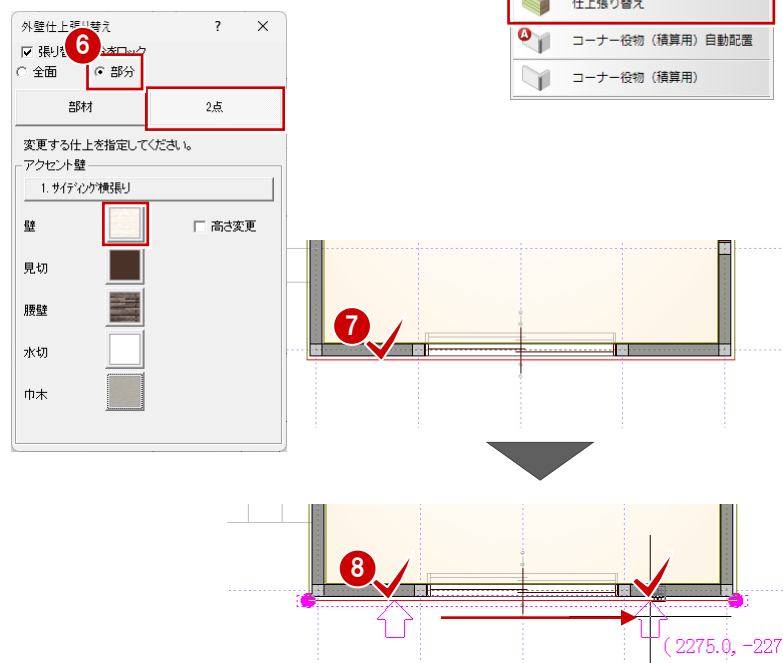
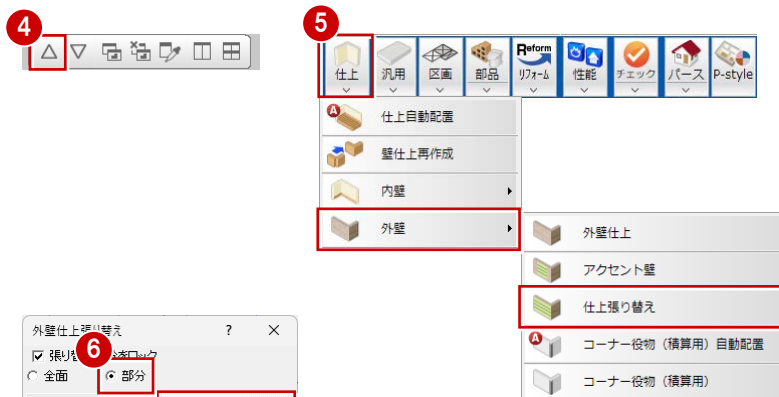
壁の素材：「外装材＞窯業系サイディング」  
の「ストーン調 クリーム」

② LDK 南側の外壁仕上をクリックします。

③ 外壁仕上を張り替える始点と終点を指定し  
ます。（ここでは、建具両脇の柱の 1/4 グリッド  
外側を指定しています。）  
指定した範囲の外壁仕上が張り替えられ  
ます。



④～⑧ 同様に、2階平面図を開いて「仕上」メ  
ニューから「外壁」の「仕上張り替え」で外壁仕上  
を張り替えます。



## 屋根を葺き替える

屋根の葺き替えは、リフォームの編集機能を使っておこないます。

① 2階平面図のツールバーから「屋根伏図オープン」をクリックして2階屋根伏図を開きます。

② 「リフォーム」メニューから「リフォーム編集+指示」の「屋根葺き替え」を選びます。

③ 「屋根葺き替え」ダイアログで、以下のように設定します。

全面：ON

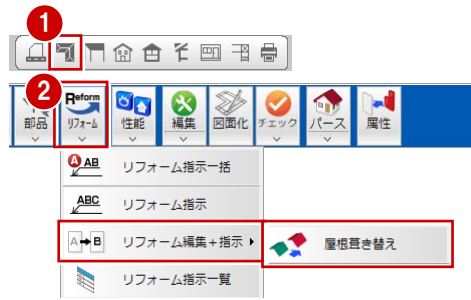
全ての階：ON

屋根仕上：3.ガルバリウム鋼板平葺

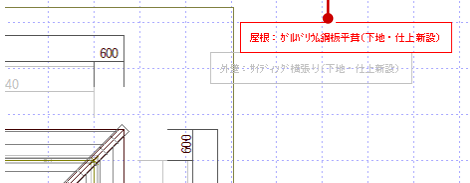
④ 「実行」をクリックします。

⑤⑥ 確認画面で「OK」と「はい」をクリックします。

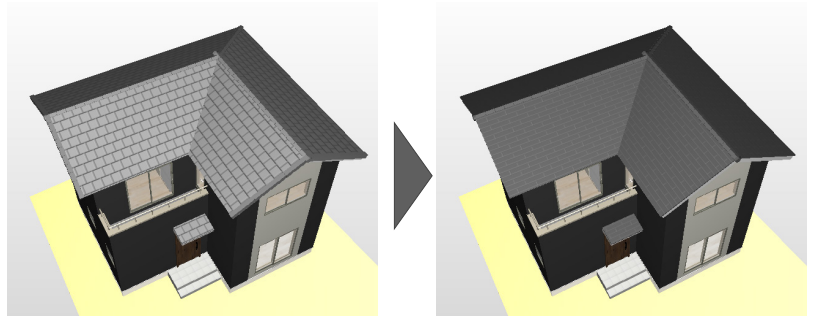
2階の屋根と1階の庇が葺き替えられ、屋根伏図にはリフォーム指示が作成されます。



屋根：ガルバリウム鋼板平葺(下地・仕上新設)



【2階 屋根伏図】

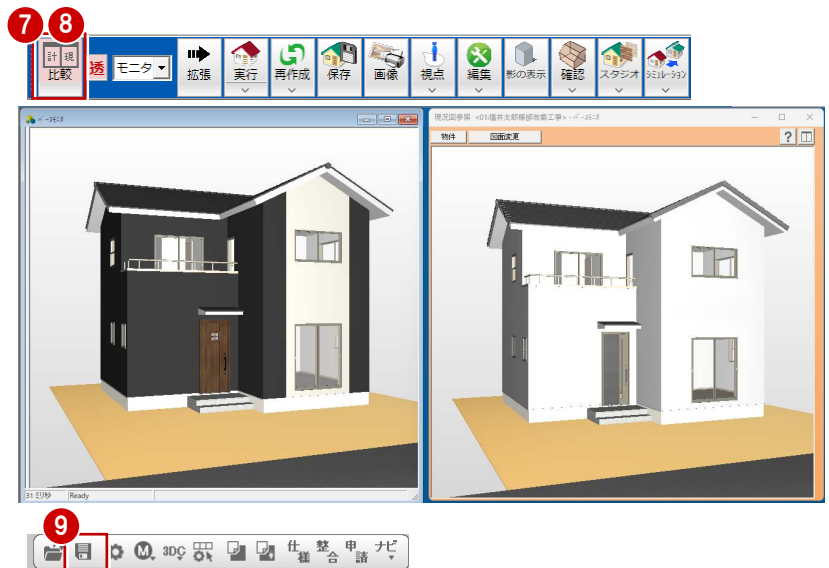


外装の変更が終わったので、パースモニタで現況図と計画図を比較します。

⑦ パースモニタを開いて「計画図・現況図を並べて表示」をクリックして、データを確認します。

⑧ 確認が終わったら、再度「計画図・現況図を並べて表示」をクリックして計画図のみの表示にもどしておきます。

⑨ 「上書き保存」をクリックして、作成した図面を保存します。



## 4-7 リフォーム指示の作成

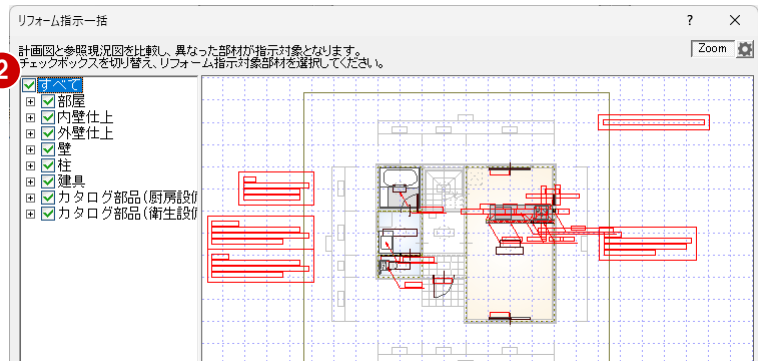
平面図（計画図）にリフォーム指示（参照現況図からの変更点）を部材ごとに書き込みます。  
ここでは、一括で指示する方法と個別で指示する方法を解説します。

### 一括で指示を行う

- 1階平面図で、「リフォーム」メニューから「リフォーム指示一括」を選びます。

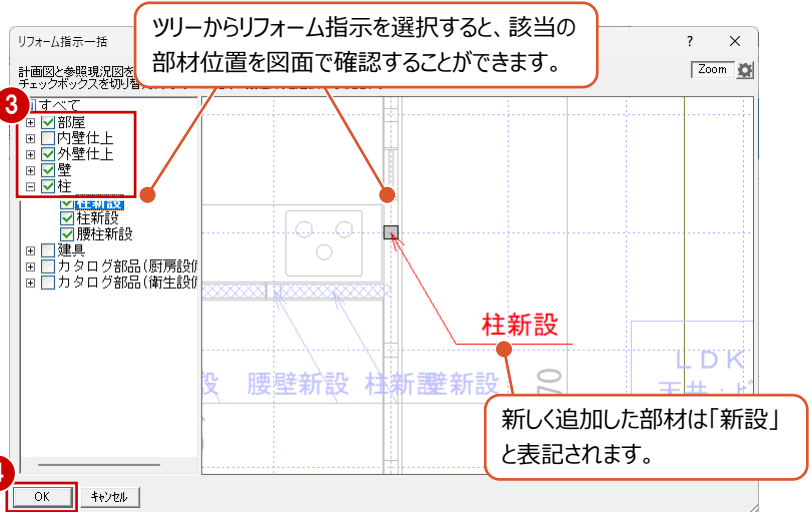


- 'リフォーム指示一括'ダイアログが開き、リフォーム指示対象の部材が一覧に表示されます。

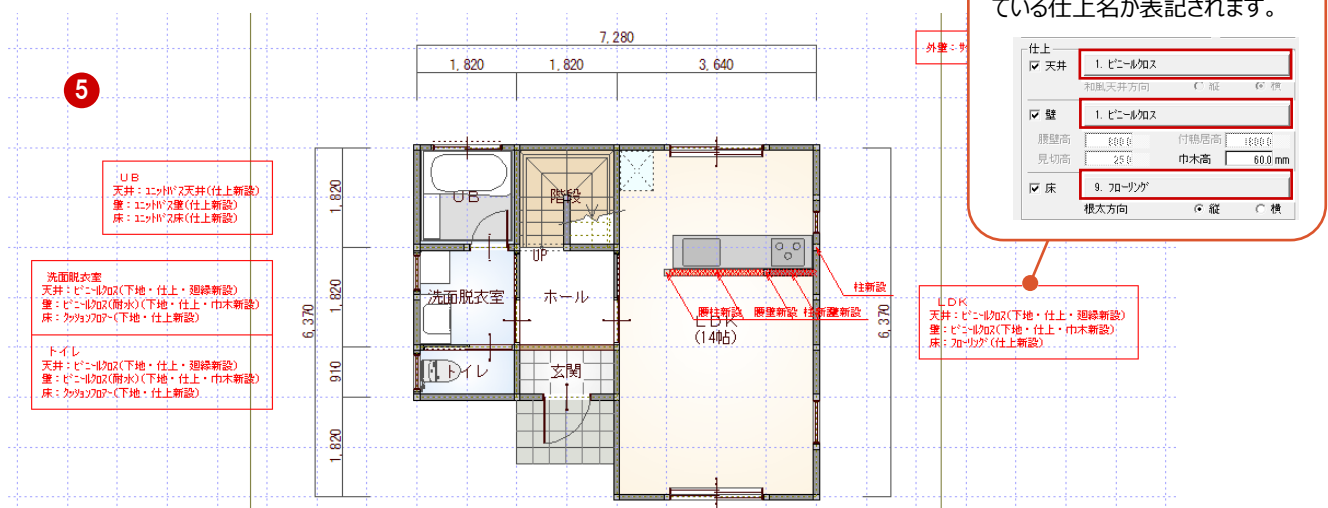


- ここでは、「部屋」「外壁仕上」「壁」「柱」のみ ON にします。

- 'OK'をクリックします。



- チェックを ON にした部材のリフォーム指示が作成されます。





## 「参照現況図に部材データがありません」と表示される場合

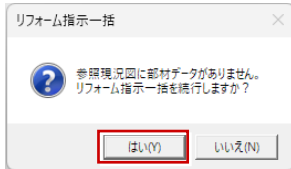
参照現況図にデータがない場合、「リフォーム指示一括」をクリックすると確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると「リフォーム指示一括」ダイアログが開きますが、全ての部材が指示対象になってしまいます。

参照現況図を開くと現況図のデータが読み込まれます。参照現況図に部材がない状態で開いたときは、参照現況図の「下図読み込み」で現況図のデータを読み込んでからリフォーム指示一括を行ってください。

※ P.22のように現況図から「計画図を開く」、または物件選択ダイアログの「計画図データ作成」など、現況図から計画図を作成した場合は参照現況図が作成されますが、既存の物件を計画図に登録した場合は現況図と計画図の関連がないため参照現況図のデータがありません。

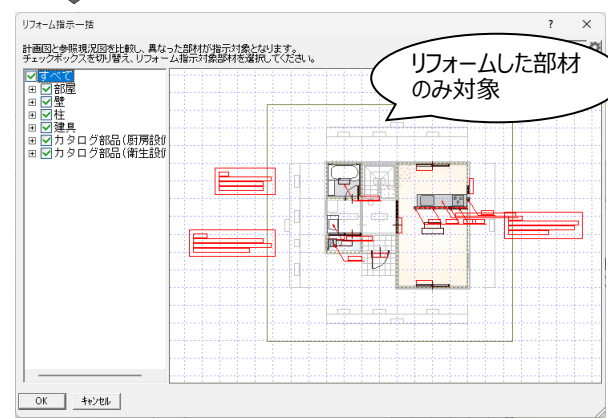
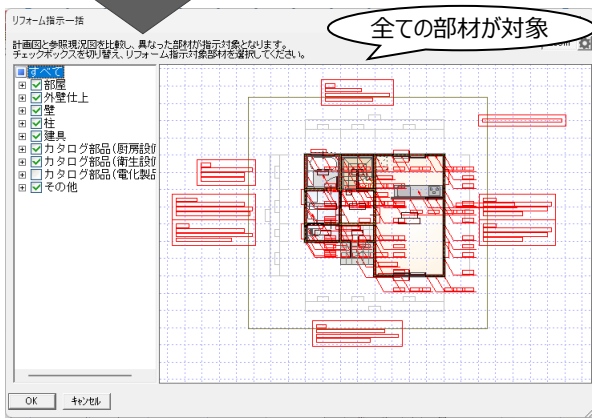
### 【参照現況図にデータがない場



現況図を読み込み



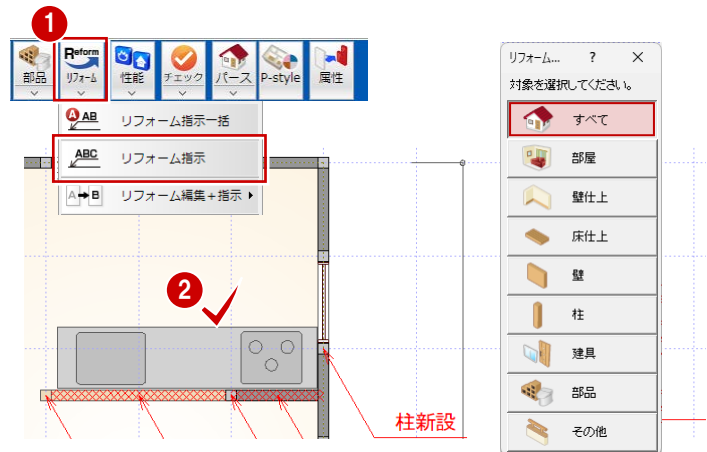
リフォーム指示一括



## 個別で指示を行う

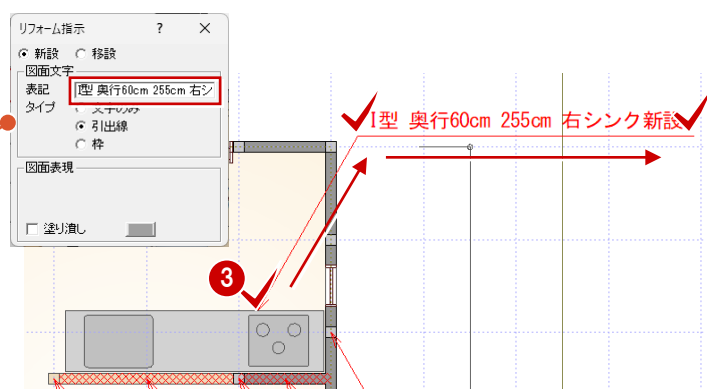
部品や建具に個別でリフォーム指示を行います。

- 1 「リフォーム」メニューから「リフォーム指示」を選びます。
- 2 キッチンをクリックします。

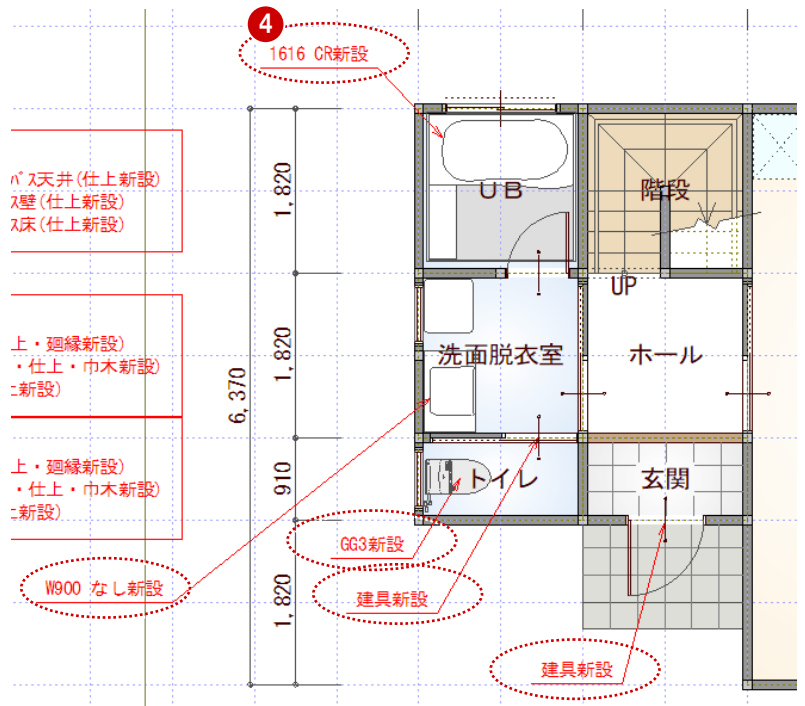


- 3 「リフォーム指示」ダイアログで指示内容を確認して、引き出し線の始点、終点、方向を指定します。

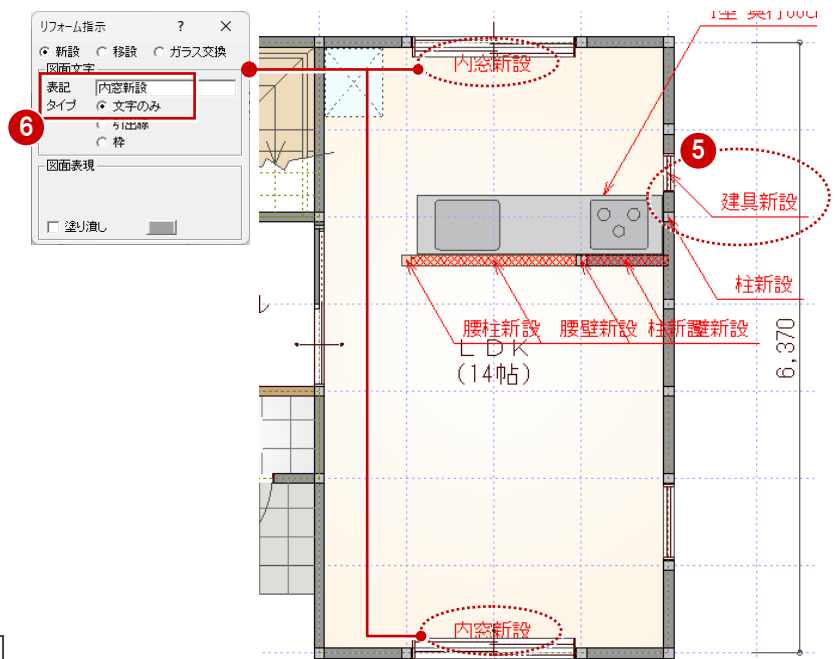
初期値は部品名が表記されます(変更可能)。



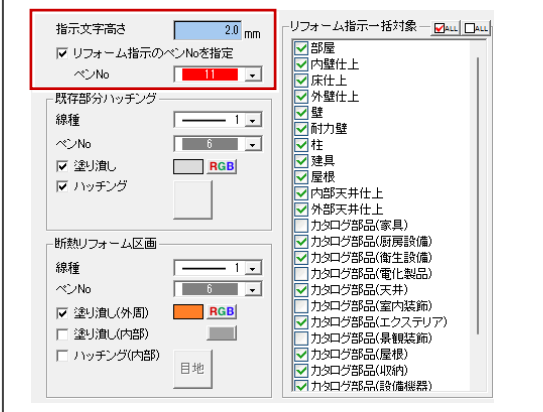
- 4 同様に、ユニットバス、洗面化粧台、トイレ、トイレと玄関建具にもリフォーム指示を入力します。



- 5 LDK キッチン横の上げ下げ窓にも指示を入力します。  
 6 LDK の内窓には、表記を「内窓新設」、タイプを「文字のみ」に変更して入力します。

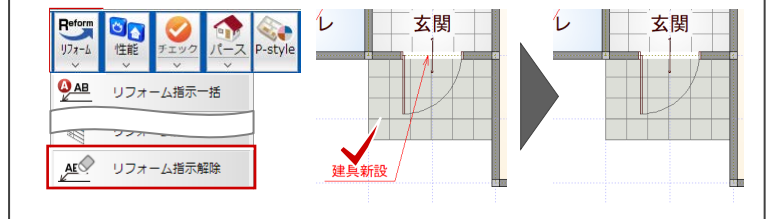


リフォーム指示のペン No.を変更するには「専用初期設定：リフォームーリフォーム」で、ペン No.や文字高さを設定します。



リフォーム指示を解除するには

「リフォーム」メニューから「リフォーム指示解除」を選び、解除したいリフォーム指示をクリックします。



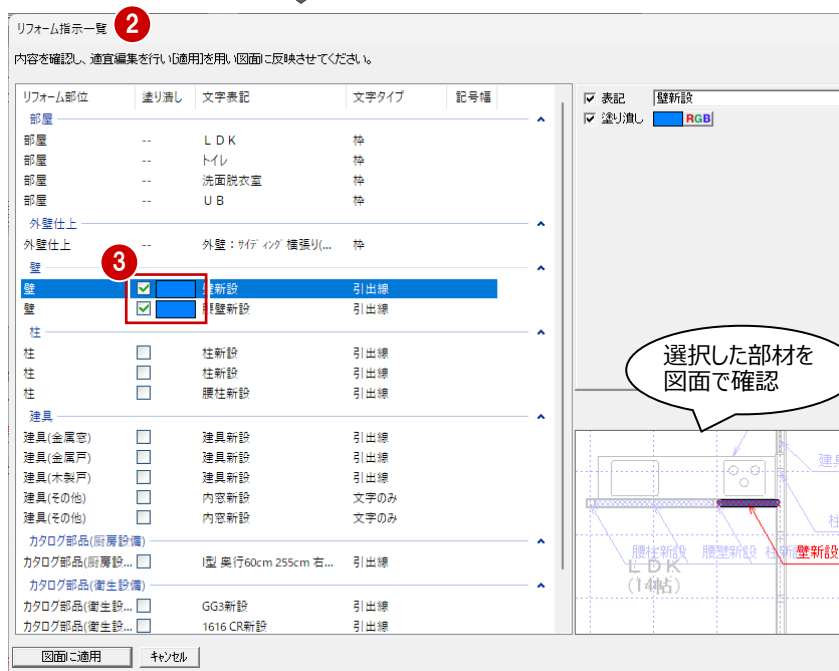
## リフォーム指示を確認・変更する

- 1 「リフォーム」メニューから「リフォーム指示一覧」を選びます。
- 2 「リフォーム指示一覧」ダイアログが開き、現在図面にリフォーム指示されている内容が一覧に表示されます。



ここでは、キッチンの壁のリフォーム指示を変更します。

- 3 「壁」の塗り潰しを2つともONにします。



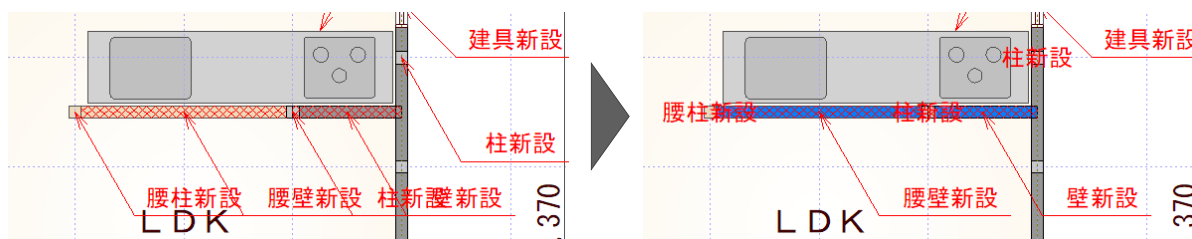
- 4 柱は全てタイプを「文字のみ」に変更します。
- 5 「図面に適用」をクリックします。



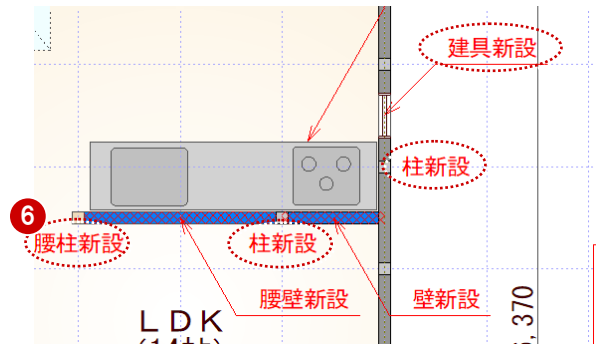
壁の色が塗り潰しされ、通常壁の引き出し線が非表示になります。

柱のリフォーム指示は引き出し線から文字のみに変更されます。

※ リフォーム指示の変更は、属性変更からもおこなえます。

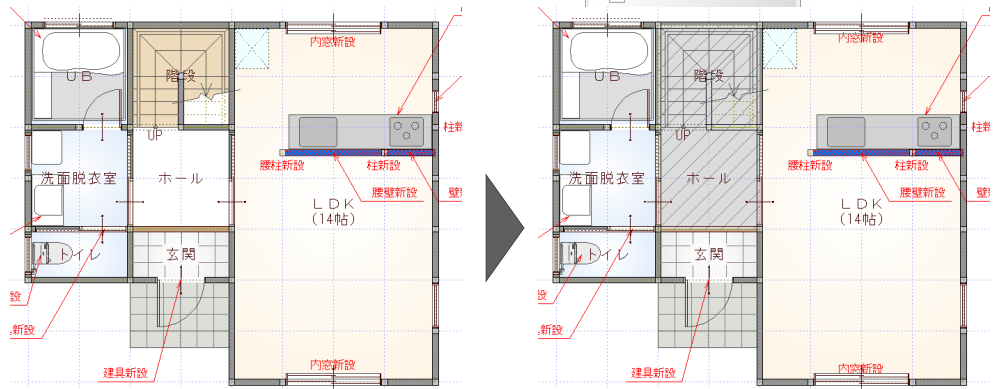
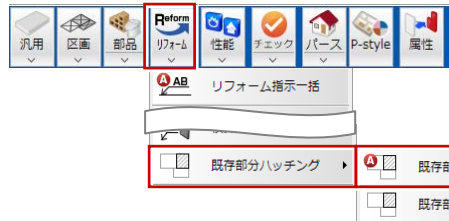


- ⑥ リフォーム指示が部材と重ならないように、トラックで位置を調節します。



### 既存部分にハッチングを行う

- ① 「リフォーム」メニューから「既存部分ハッチング」の「既存部分ハッチング自動」を選びます。
- ② リフォーム指示がない部屋に自動で塗り潰しが入力されます。



- ③ 「上書き保存」をクリックして、作成した図面を保存します。



# 5

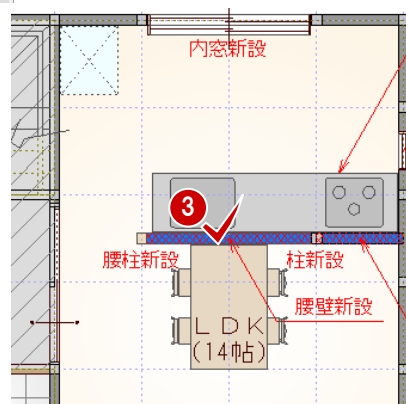
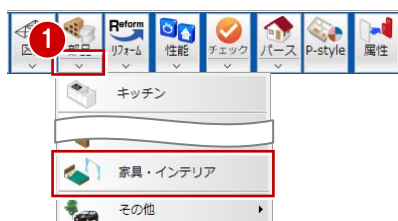
## パースの作成

家具や外構部品を配置して、内観パース、外観パース、鳥瞰パースを作成します。

### 5-1 パース用データの作成

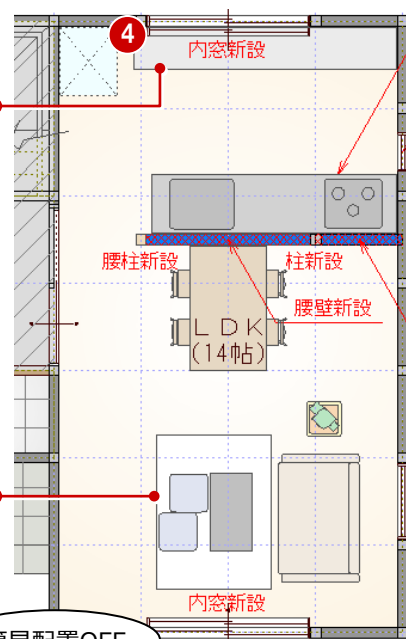
#### 内観部品を配置する

- 1 階平面図を開いて、「部品」メニューから「家具・インテリア」を選びます。
- 2 「ダイニング家具」の「ダイニングセット\_アイアンA」を選びます。
- 3 配置基準を右中に変更して、右図のように配置します。



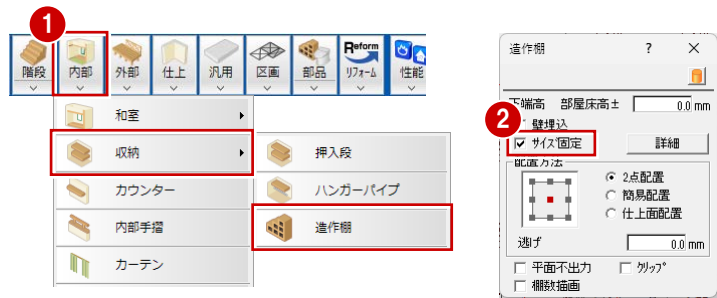
- 4 同様に、リビング家具、キッチン収納を入力します。

※ キッチン収納は、3D カタログ.com からダウンロードしたものを使用しています。



## 造作棚を配置する

① 「内部」メニューから「収納」の「造作棚」を選びます。



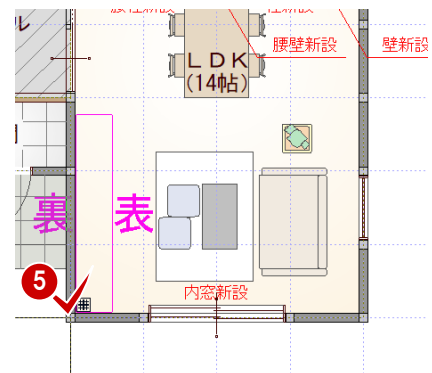
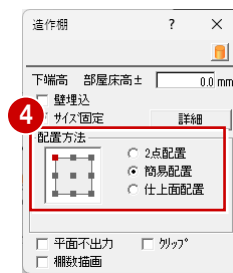
② 「サイズ固定」を ON にします。「造作棚」ダイアログが開きます。

③ ここでは、「タイプ 5」を選択して「OK」をクリックします。



④ 配置方法を左上、「簡易配置」を ON にします。

⑤ LDK 左下に配置します。



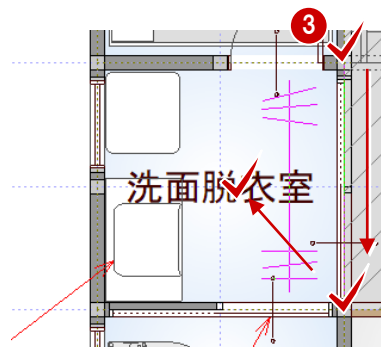
## ハンガーパイプを配置する

洗面脱衣室にハンガーパイプを配置します。

① 「内部」メニューから「収納」の「ハンガーパイプ」を選びます。

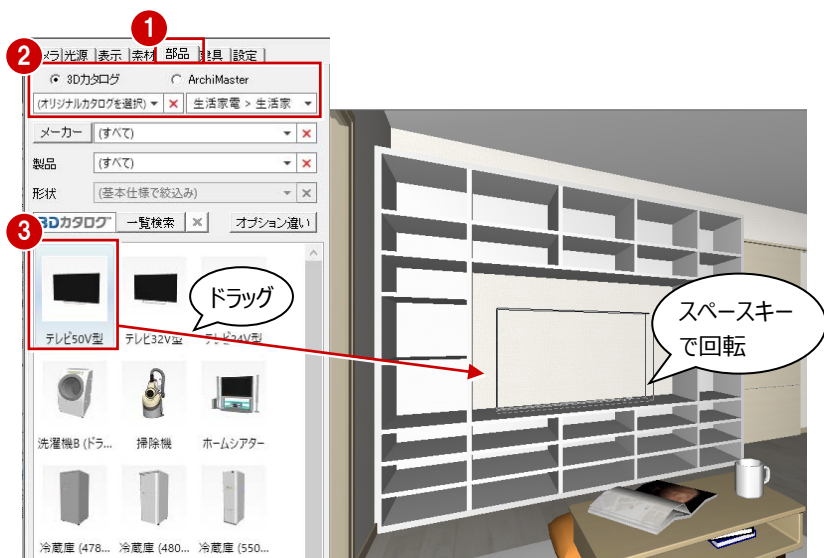
② ここでは、高さを「2200」、「上吊」を ON にします。

③ ハンガーパイプの幅、方向を指定して配置します。



## パースモニタから配置する

- ① パースモニタを開いて、拡張メニューの「部品」タブ開きます。
- ② 「3Dカタログ」をON、分類を「生活家電>生活家電・家電製品」に設定します。
- ③ 一覧から「テレビ 50V 型」を選択し、造作棚中央ヘドラッグ&ドロップします。  
ドラッグしながらスペースキーを押すと、部品を回転できます。

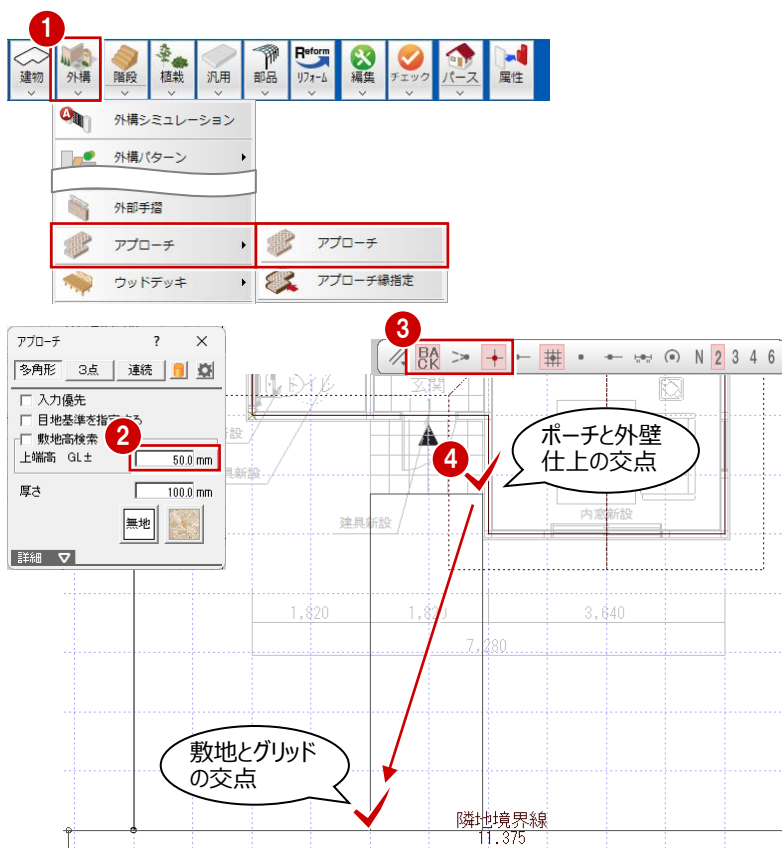
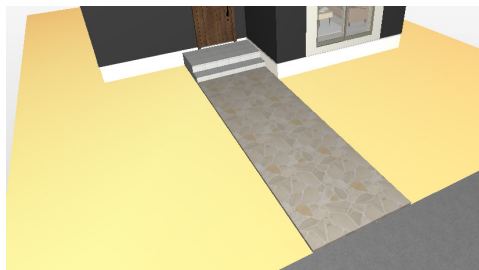


- ④ 「素材」タブを開き、「3Dカタログ」をON、分類を「内装材>造作材」に設定します。
- ⑤ 「造作材 パイン」を造作棚にドラッグ&ドロップします。



## アプローチを配置する

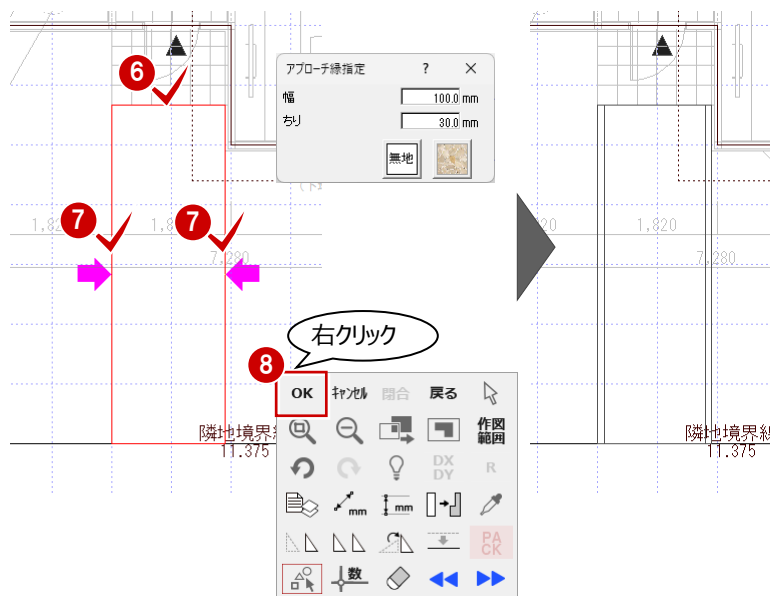
- 1 配置図 1 面を開いて、「外構」メニューから「アプローチ」の「アプローチ」を選びます。
- 2 上端高を「50」に設定します。
- 3 ピックモードの「バックレイヤ」「交点」をONにします。
- 4 アプローチの範囲として、ポーチと外壁仕上の交点、敷地のグリッドの交点をクリックします。



- 5 「外構」メニューから「アプローチ」の「アプローチ縁指定」を選びます。



- 6 入力したアプローチをクリックします。
- 7 縁を設定する辺を指定します。
- 8 マウスを右クリックして「OK」を選びます。





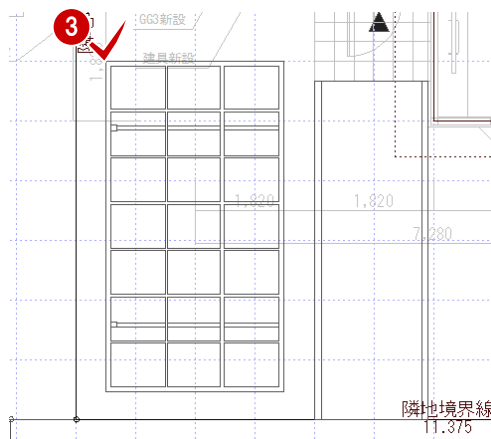
## 外構部品を配置する

① 「部品」メニューから「エクステリア」を選びます



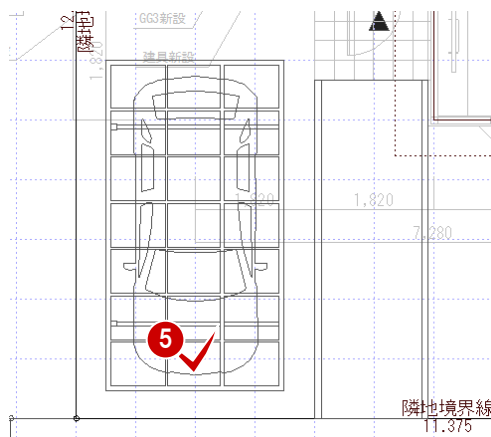
② 分類「エクステリア> 車庫まわり」から「メジャーポート」を選びます。

③ アプローチの横に配置します。



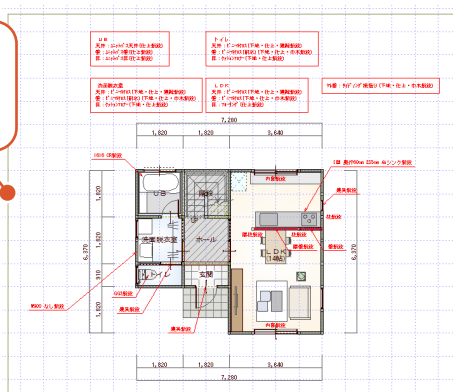
④ メジャーポートのサムネイル画像から、分類「装飾パーツ・素材> 自動車・バイク・自転車」の「コンパクトカー」を選びます。

⑤ メジャーポートと同じ位置に配置します。

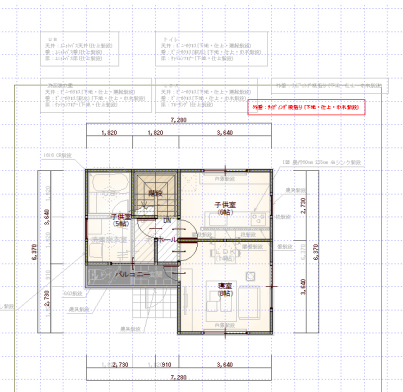


以上で、内観・外観の編集は終了です。平面図のリフォーム指示などの位置を調節して整えておきましょう。

作図範囲も設定し直しておく、図面配置時に作図範囲外のデータが切れたりしなくなります。



【1階 平面図】



【2階 平面図】

⑥ 編集が終わったら、「上書き保存」をクリックして作成した図面を保存します。

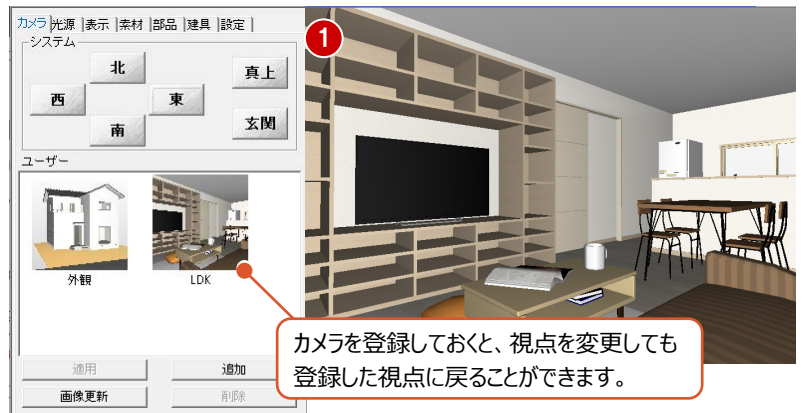


## 5-2 パース用画像の作成

### 内観パースを作成する

① パースモニタを開き、LDKの視点を設定します。

② 「画像印刷/保存」をクリックします。



③ 解像度や作成する画像のサイズを次のように設定します。

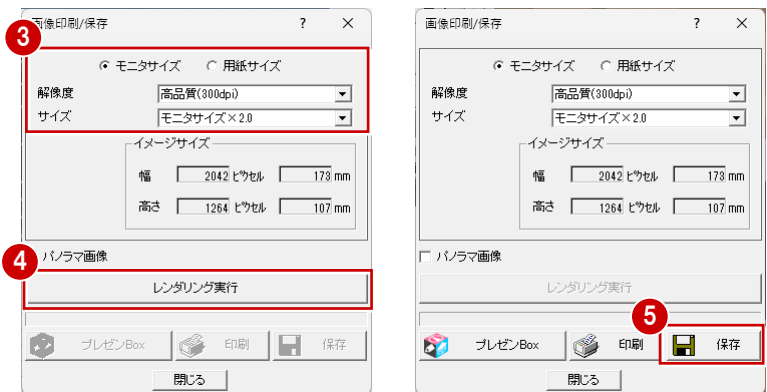
モニタサイズ：ON

解像度：高品質（300dpi）

サイズ：モニタサイズ×2.0

④ 「レンダリング実行」をクリックします。

⑤ レンダリングが完了したら、「画像印刷/保存」ダイアログの「保存」をクリックします。



⑥ 保存ファイル形式（ここでは「JPEG」）を選んで、「OK」をクリックします。



⑦ 保存先とファイル名を指定します。  
ここでは、保存先はそのまま、ファイル名に「LDK」と入力して、「保存」をクリックします。



- 8 同様に、キッチン、UB、洗面脱衣室、トイレの画像も作成します。



【キッチン】



【UB】



【洗面脱衣室】



【トイレ】

### 外観パースを作成する

- 1 「カメラ」タブを開いて、現況図で登録した「外観」の視点をクリックします。
- 2 「背景/光源変更」を「昼」に変更します。
- 3 「画像印刷/保存」をクリックして、外観パースを保存します。



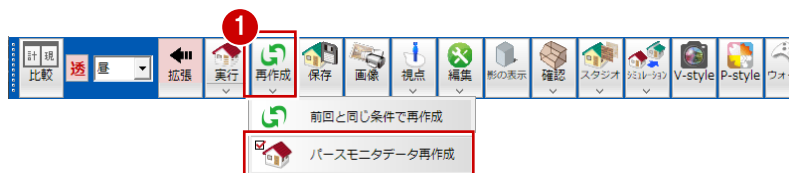
【外観パース（計画）】

The screenshot shows the software's camera control interface. At the top, there is a toolbar with icons for 'カメラ' (Camera), '透視' (Perspective), '拡大' (Zoom In), '実行' (Execute), '再作成' (Recreate), '保存' (Save), and '画像' (Image). Below this is a 'カメラ' (Camera) menu with options for '表示' (Display), '素材' (Material), '部品' (Parts), '建具' (Furniture), and '設定' (Settings). The 'カメラ' menu is open, showing a grid of view options: '北' (North), '真上' (Top), '西' (West), '東' (East), '南' (South), and '玄関' (Entrance). A red box highlights the '外観' (Exterior) view option. Below the view options are buttons for '適用' (Apply), '追加' (Add), '画像更新' (Update Image), and '削除' (Delete). A red circle with the number '1' points to the '画像更新' button. To the right of the interface is a large 3D rendering of the house's exterior, showing a two-story building with a car parked in front.

「画像更新」をクリックすると、現在の建物でカメラ画像が更新されます。

## 鳥瞰パースを作成する

① 「再作成」メニューから「パースモニタデータ再作成」を選びます。



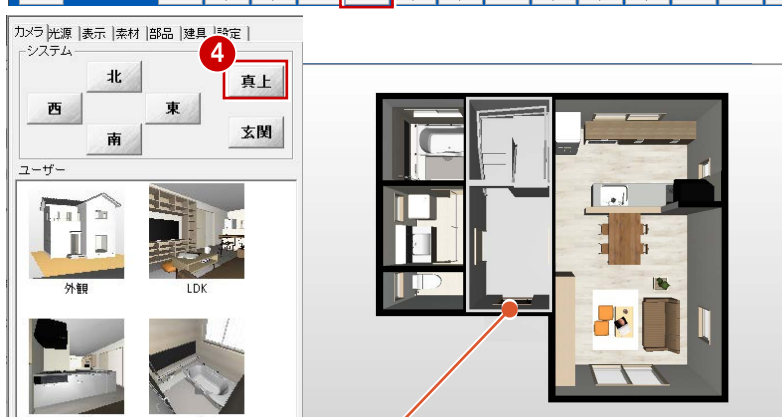
② 作成するパースの種類を「鳥瞰」、「リフォームモード」をONに設定して「OK」をクリックします。鳥瞰パースが作成されます。



③ 内観が確認しやすいように、「背景/光源変更」を「モニタ」に変更します。



④ 「カメラ」タブの「真上」をクリックして、真上の視点に切り替えて、建物を拡大します。



⑤ 「画像印刷/保存」をクリックして、外観パースを保存します。



【鳥瞰パース】

「リフォームモード」の場合、リフォームしない部分の色が変わります。  
 リフォームしない部分の色は、パースモニタの「専用初期設定：立体作成条件」の「表示設定」タブにある「リフォーム既存部分表示」で設定します。

以上でパース画像の準備は完了です。

パースモニタを建物全体のデータに戻してパースモニタデータを保存しておきましょう。



# 6

## 図面の作成

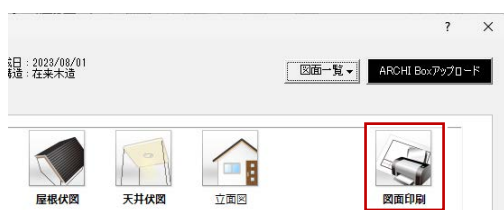
作成した平面図やパース画像を配置して図面を作成します。

### 6-1 会社情報の設定

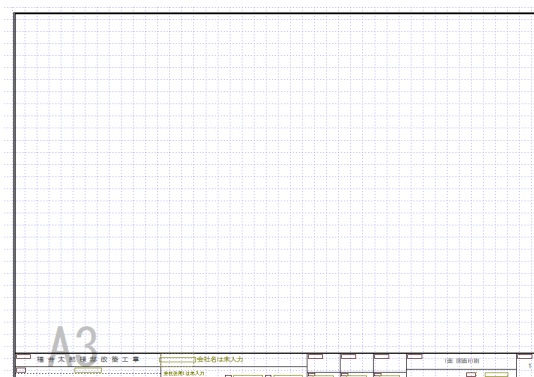
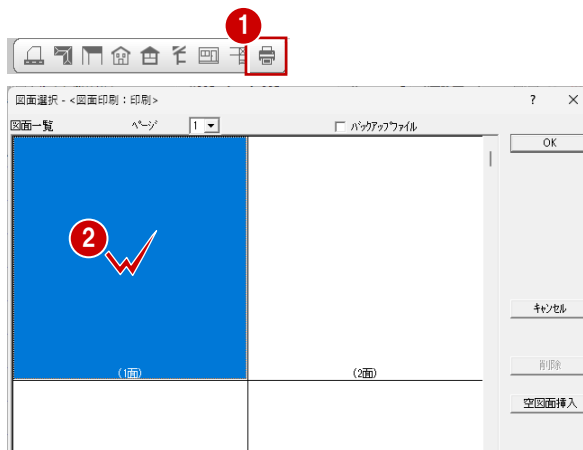
#### 図面印刷を開く

- 1 平面図のツールバーから「図面印刷オープン」をクリックします

※ 「処理選択」ダイアログから「図面印刷」を開いても構いません。

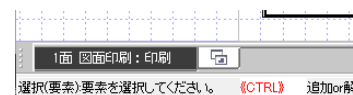
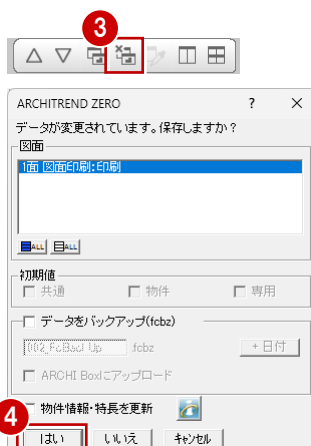


- 2 「図面選択」ダイアログで 1 面をダブルクリックします。  
1 面の図面印刷が開きます。



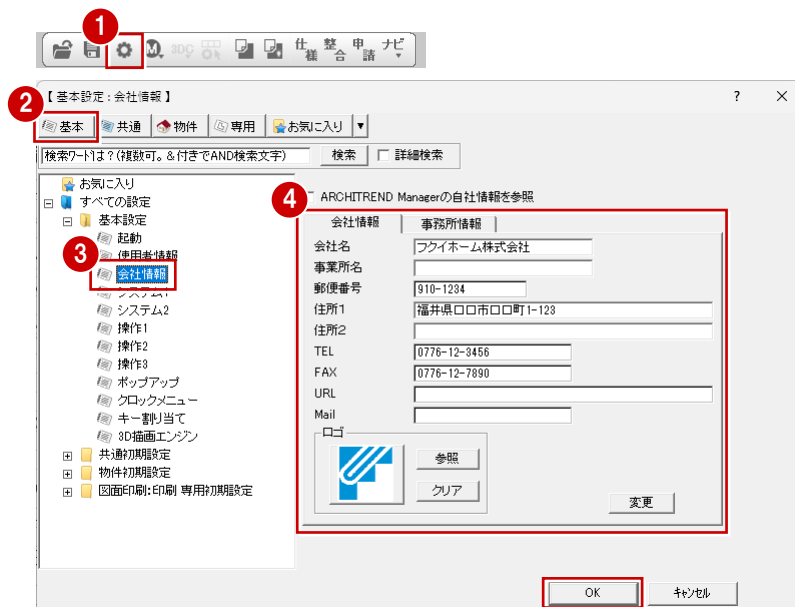
図面印刷以外の他のウィンドウを閉じておきます。

- 3 図面印刷で、ツールバーの「他のウィンドウを閉じる」をクリックします。
- 4 確認画面で「はい」をクリックします。  
「1面 図面印刷」以外の図面が全て閉じます。



## 会社情報を設定する

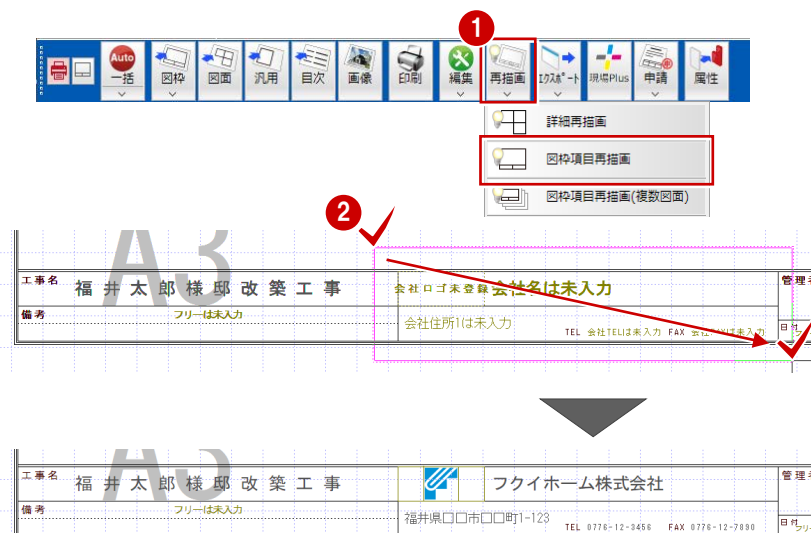
- 1 「設定」をクリックします。
- 2 「基本設定」をクリックします。
- 3 ツリーから「会社情報」を選びます。
- 4 会社名や住所、電話番号、ロゴなどを設定して、「OK」をクリックします。



## 図枠項目を再描画する

設定した会社名や住所、電話番号などを図面枠に反映させましょう。

- 1 「再描画」メニューから「図枠項目再描画」を選びます。
- 2 右図のように、更新する図枠項目を選びます。図面枠に会社名や住所などが描画されます。



## 6-2 図面の配置

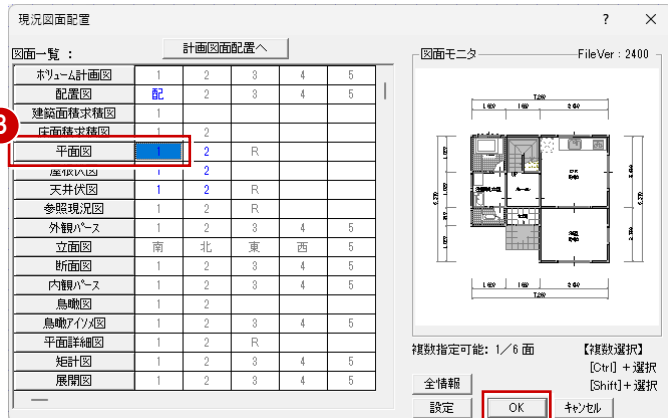
現況図と計画図の平面図を並べて配置します。

### 1 階平面図を配置する

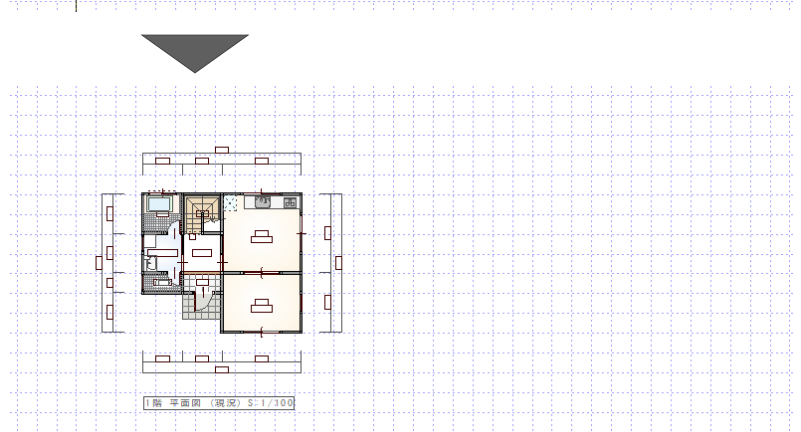
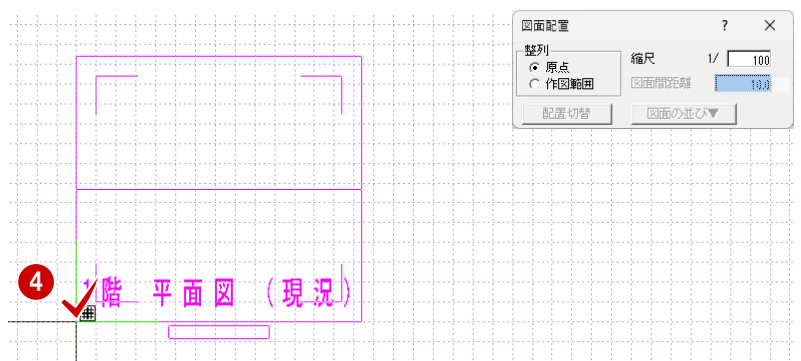
- 「図面配置」をクリックします。
- 「計画図面配置」ダイアログで「現況図面配置へ」をクリックします。  
現況図の図面一覧が開き、現況図の図面を配置することができます。



- 平面図の「1」を選択して「OK」をクリックします。



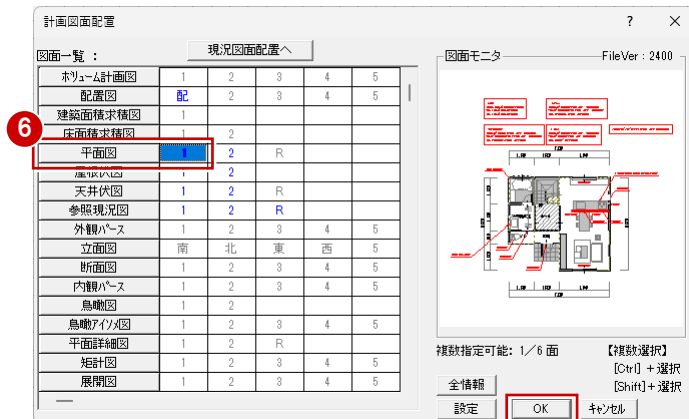
- 図面の配置位置をクリックします。  
現況図の1階平面図が配置されます。



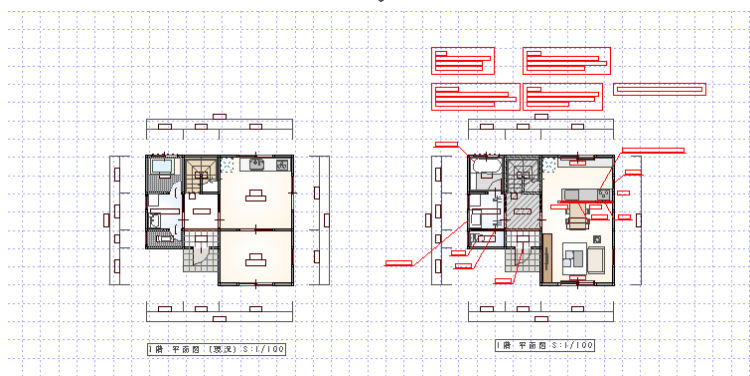
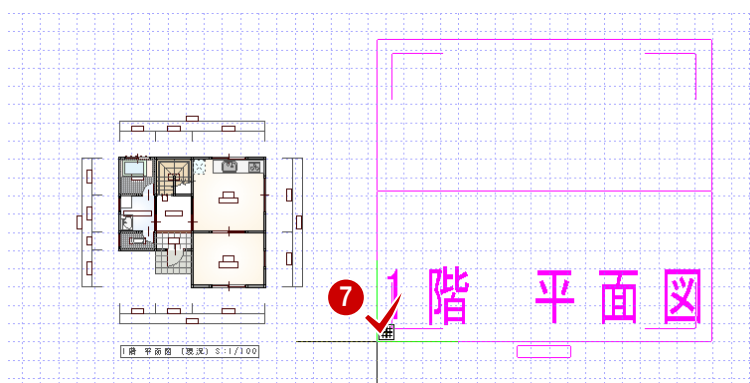
5 「現況図面配置」ダイアログが開くので、「計画図面配置へ」をクリックして計画図の図面一覧に戻ります。



6 平面図の「1」を選択して「OK」をクリックします。



7 図面の配置位置をクリックします。  
計画図の1階平面図が配置されます。

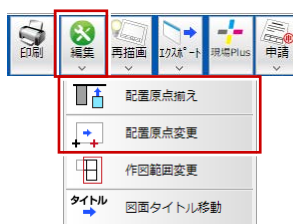


8 「計画図配置」ダイアログで「キャンセル」をクリックします。



### 図面の位置を揃えるには

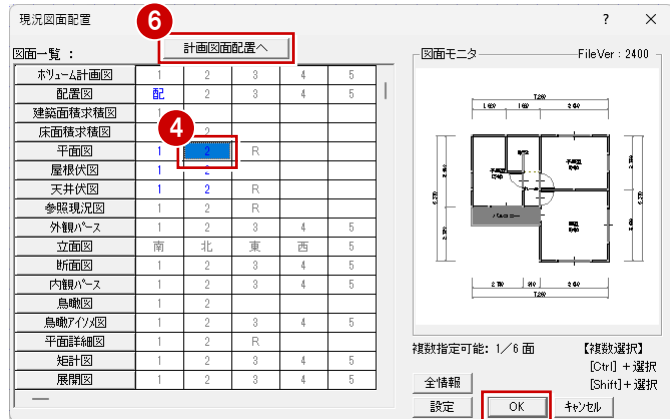
複数の図面を垂直方向または水平方向に揃えたいときは、「編集」メニューの「配置原点変更」と「配置原点揃え」で図面位置を揃えます。



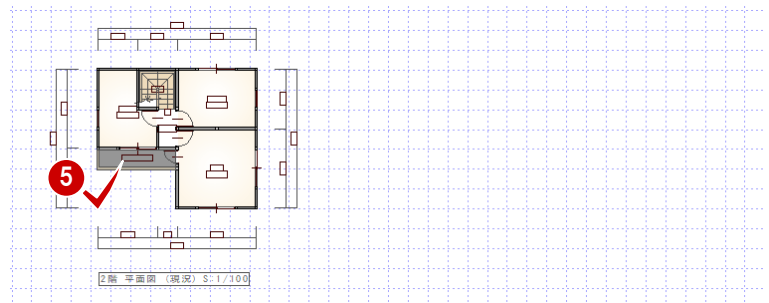


## 2階平面図を配置する

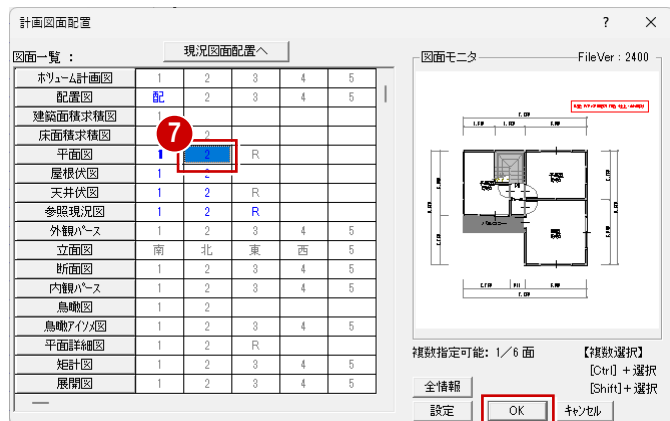
- 1 「上図面へ」をクリックして、2 面目を開きます。
- 2 「図面配置」をクリックします。
- 3 「現況図面配置へ」をクリックします。
- 4 平面図の「2」を選択して「OK」をクリックします。



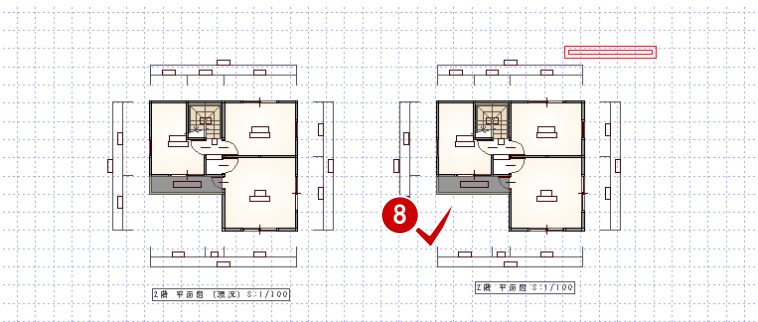
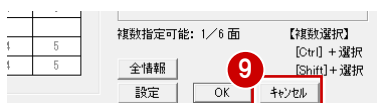
- 5 図面の配置位置をクリックします。
- 6 「計画図配置へ」をクリックします。



- 7 平面図の「2」を選択して「OK」をクリックします。



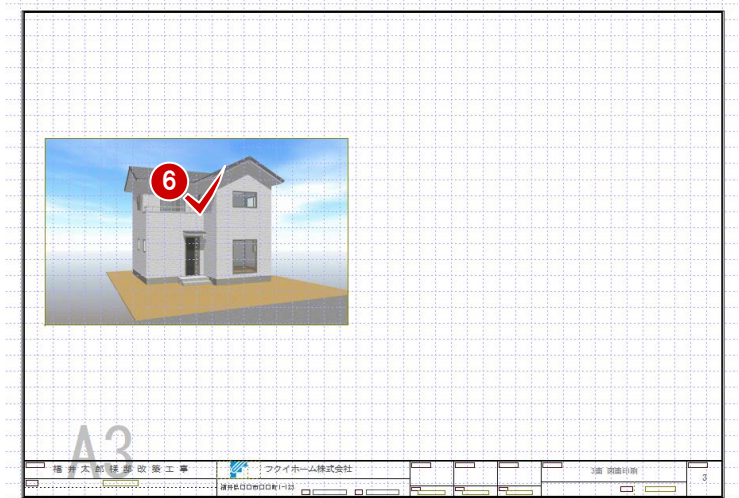
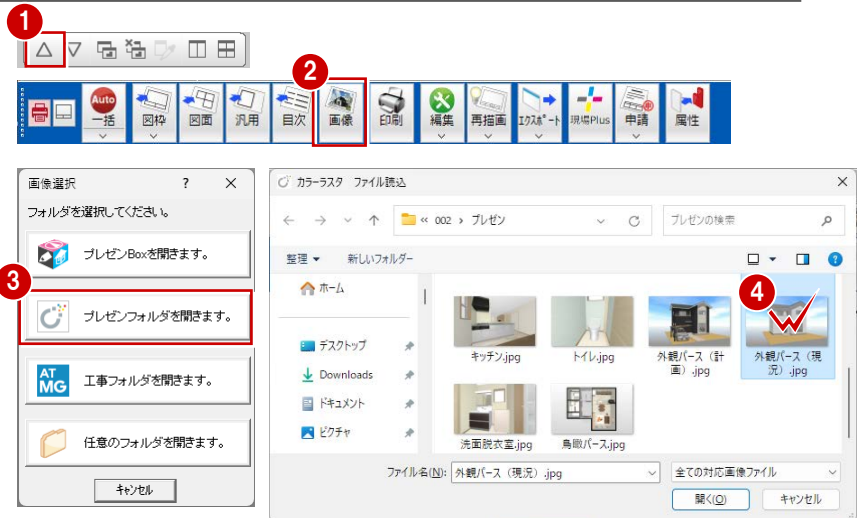
- 8 図面の配置位置をクリックします。。
- 9 「計画図配置」ダイアログで「キャンセル」をクリックします。



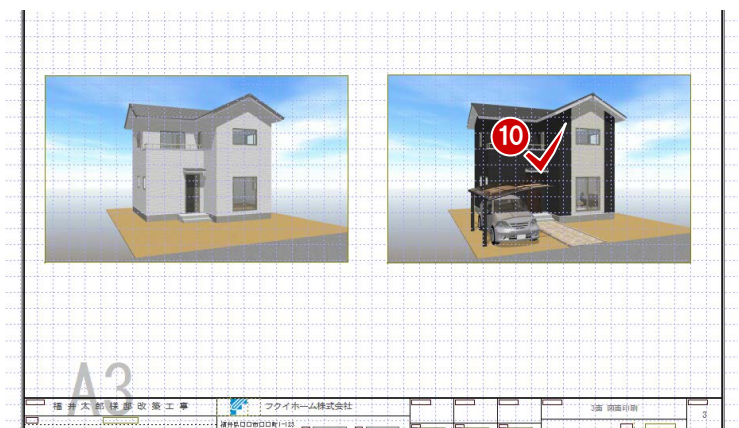
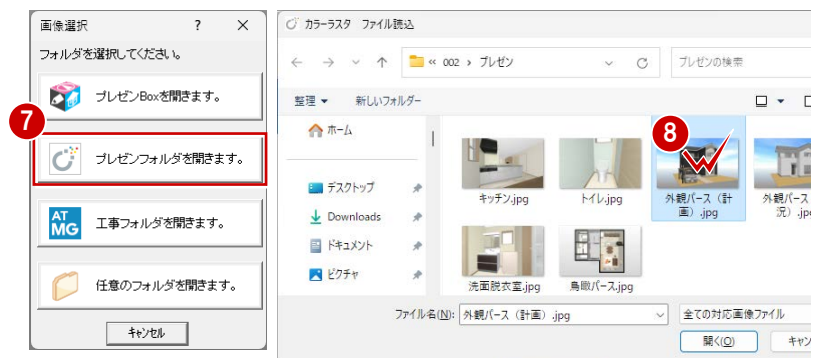
## 6-3 パース画像の配置

### 外観パースを配置する

- ① 「上図面へ」をクリックして、3 面目を開きます。
- ② 「画像配置」をクリックします。
- ③ 「画像選択」ダイアログで、「プレゼンフォルダを開きます。」をクリックします。
- ④ 「外観パース（現況）」を選択します。
- ⑤ 「画像配置」ダイアログで、配置方法を「1 点」に設定します。
- ⑥ 画像の配置位置をクリックします。

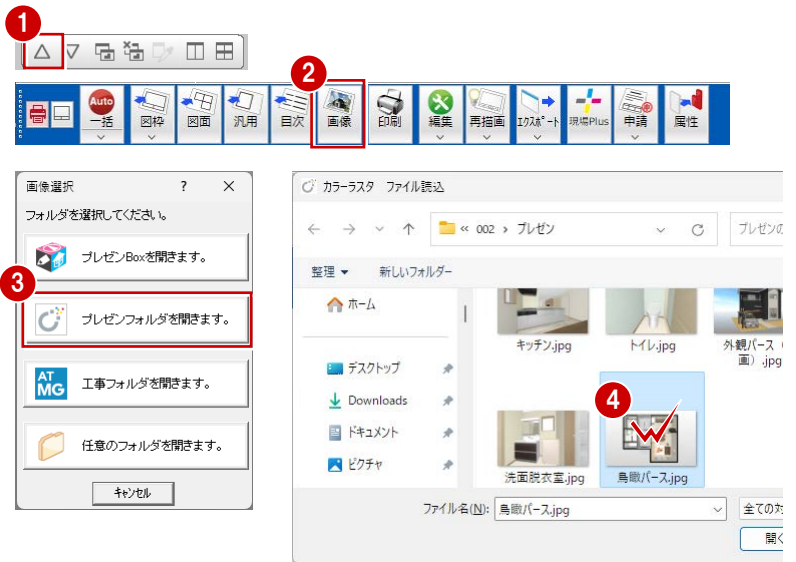


- ⑦～⑩ 再度「画像選択」ダイアログが開くので、プレゼンフォルダから「外観パース（計画）」を選んで配置します。

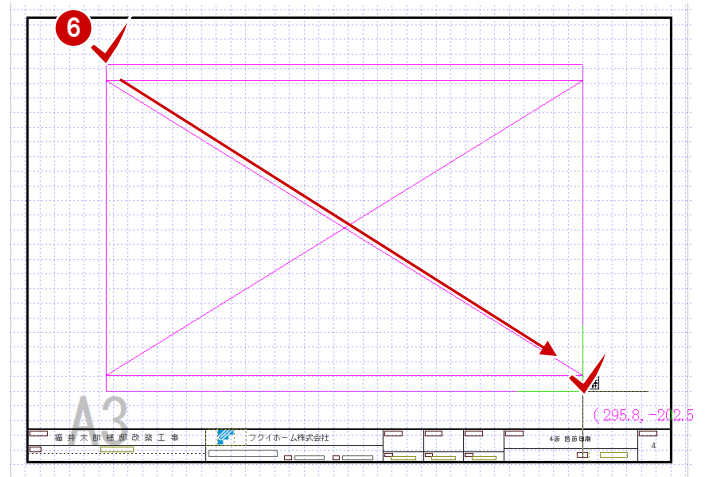


## 鳥瞰パースを配置する

- 1 「上図面へ」をクリックして、4 面目を開きます。
- 2 「画像配置」をクリックします。
- 3,4 プレゼンフォルダから鳥瞰パースの画像を選択します。

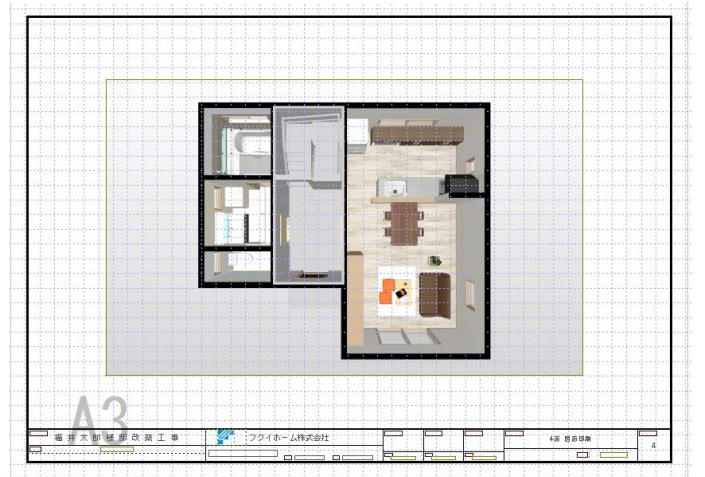
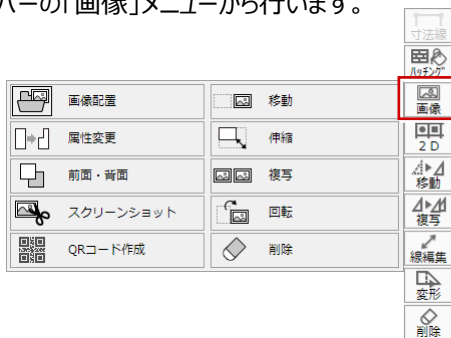


- 5 ここでは配置方法を「矩形フィット」に設定します。
- 6 始点、対角点をクリックして、画像の配置位置をクリックします。  
マウスで指定した矩形範囲に収まるサイズで画像が配置されます。



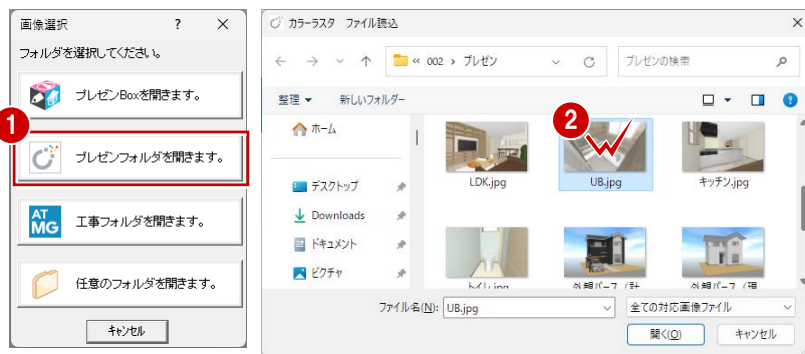
## 画像を編集するには

配置した画像の移動や削除などの編集は、汎用ツールバーの「画像」メニューから行います。



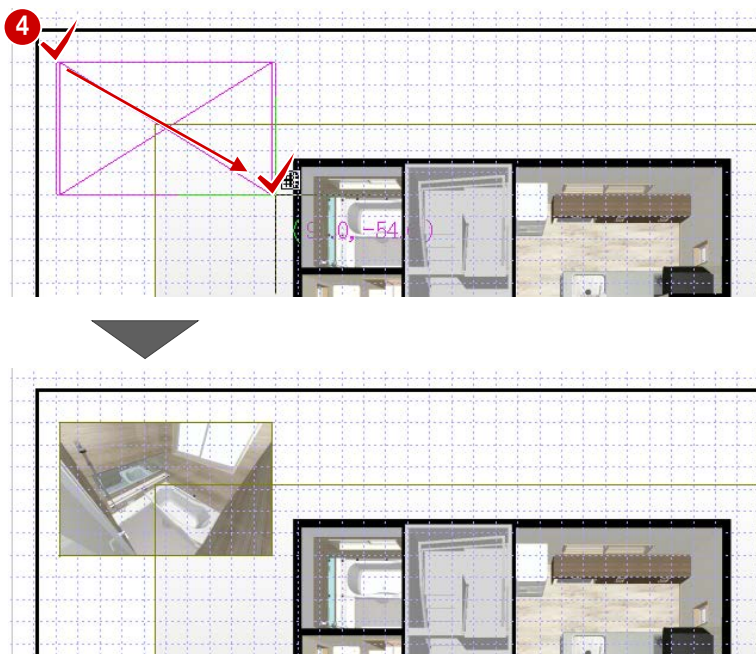
## 室内のパースを配置する

①② プレゼンフォルダから「UB」の画像を選択します。

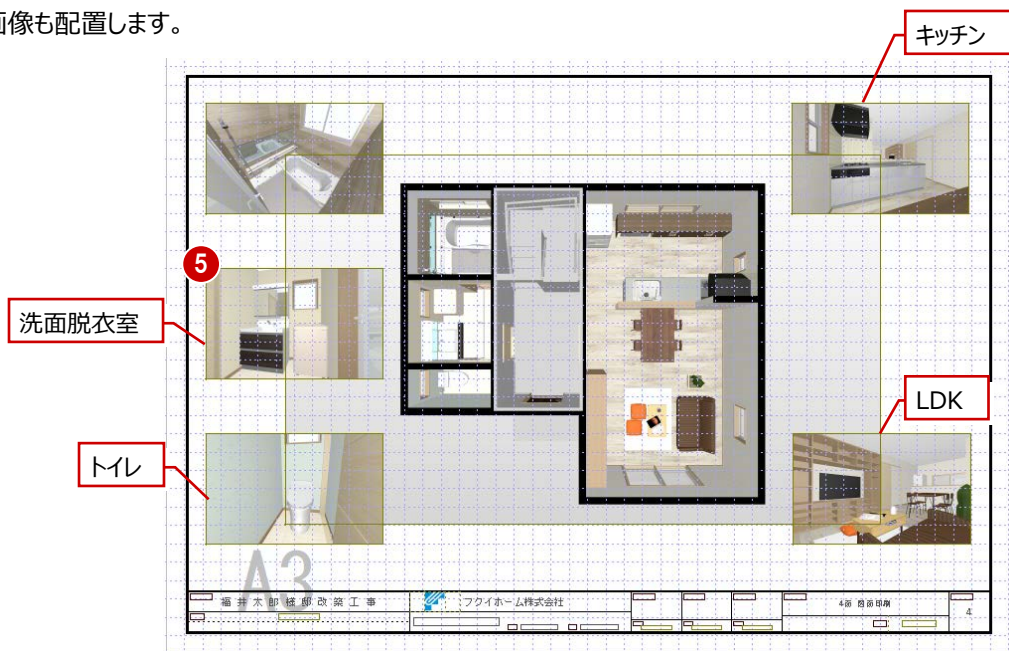


③ 配置方法を「矩形フィット」に設定します。

④ 始点、対角点をクリックして、右図のように、鳥瞰パースの左上に画像を配置します。



⑤ 同様に、他の内観パースの画像も配置します。



⑥ 以上で図面の作成は終了です。「上書き保存」をクリックして作成した図面を保存します。

